

146

90

明治三十六年一月

中央氣象臺一覽

中央氣象臺

146-90

中央氣象臺一覽目次

中央氣象臺沿革

法令規則

氣象臺測候所條例

氣象臺測候所條例施行細則

官制

事務分課

事務分課

中央氣象臺附屬測候所勤務ノ者ニ月手當給與ノ件

同月手當給與細則

中央氣象臺氣象通報規程

氣象信號標式

天氣豫報暴風警報規則



氣象規則練習會規則

三	職員	七五
四	圖書	八一
五	器械	八三
六	經費	八六
七	地方測候所沿革	八八
八	地方測候所ニ關スル法令	九一
	地方測候所職員待遇法	
九	測候所位置	九四
十	測候所職員	一〇二
十一	官廳府縣氣象事業一覽表	一二〇

中央氣象臺一覽

○一 中央氣象臺沿革

中央氣象臺ハ元ト東京氣象臺ト稱シ其創立ハ實ニ明治八年六月一日ニ在リ明治六年工部省測量司(翌七年ヨリ内務省所管ニ歸ス)ニ於テ氣象觀測ノ必要ヲ認メ氣象器械若干種ヲ英國ニ注文シ翌年七月到著シタルヲ以テ同司備英人ヘンリー、ヒル、ジョイナルニ命シテ之ヲ赤坂區葵町三番地同司構内ニ据付タシメ明治八年五月器械ノ据付成ル是ニ於テ測量正村田文夫當時ノ内務卿大久保利通ニ稟申シ司内ニ一ノ掛ヲ新設シ之ヲ東京氣象臺ト稱シジョイナルヲ其主任トシ六月一日氣象觀測ヲ開始シ又技生ヲシテ傍ラ觀測ノ事ヲ習ハシメタリ明治八年八月測量司ヲ廢シテ其事務ヲ地理寮測地課ニ移サル内務六等出仕室田秀雄之カ課長タリ○明治十年一月地理局測地課ト改稱シ八月又測量課ト改稱ス内務一等屬小林一知課長タリ六月三十日英人ジョイナル滿期解備内務八等屬正戸豹之助代テ觀測主任タリ十二月九日内務省御用掛荒井郁之助課長トナル○明治十三年ヨリ本曆ニ東京氣象ヲ揭ク○明治十五年一月一日地理局備

獨逸人エルツキン、クニツピングヲシテ天氣豫報暴風警報創立事務ヲ擔當セシム是ヨリ先地理局長櫻井勉農商務少輔品川彌二郎等暴風警報ノ必用ヲ認メ大ニ斡旋スル所アリ遂ニ暴風警報創立ノ經費ヲ得タルニ依ルナリ七月一日麹町區代官町舊本丸内現在地ニ移轉ス○明治十六年二月十六日氣象電報ヲ開始シ始メテ天氣圖ヲ調製シ三月一日以降毎日之ヲ印刷シテ各所ニ配付ス三月十五日ヨリ赤坂區今井町工部省用地内ニ於テ萬國同盟地極遠征中磁力觀測ヲ始ム五月二十六日始メテ暴風警報ヲ發ス同月三十日 天皇陛下吹上御苑へ行幸ノ節測量課ニテ御休憩諸器械并ニ人爲地震ノ試驗ヲ敷覽アラセラル七月一日ヨリ各地ノ氣象ヲ毎日官報ニ掲載ス七月暴風信號標式ヲ定ム十一月武藏國品川町利田新地ニ暴風信號柱ヲ建設ス○明治十七年五月二十六日測量事務ヲ陸軍參謀本部ニ移ス六月十六日在朝鮮國釜山電信局ニ囑託シテ氣象觀測ヲ開始ス○明治十八年ヨリ本曆ニ各地ノ氣象ヲ加テ六月十五日測量課ヲ地理局第四部ト改稱シ部中ニ調査、測候、豫報、驗震、觀象、編曆ノ六課ヲ置カル而シテ內務省御用掛荒井郁之助第四部長トナリ同小林一知觀象課長兼調查編曆課長、同中村精男測候課長、同和田雄治豫報課長、東京大學教授兼內務省御用掛關谷清景驗震課長トナル○十九年一月十九日第四部ヲ

地理局觀測課ト改稱シ內務一等屬小林一知課長トナル三月氣象觀測法ヲ制定頒布ス三月十五日臨時磁力觀測所ヲ廢ス○明治二十年一月一日東京氣象臺ヲ中央氣象臺ト改稱ス二月二十一日 明宮殿下行啓八月三日氣象臺測候所條例發布同月十日其施行細則ヲ定メラル八月十九日 明宮殿下行啓○明治二十一年六月十六日海軍省水路部ノ氣象事務ヲ觀測課ニ移サル九月十九日觀測課ノ觀象編曆ノ事務ヲ東京天文臺ニ移ス十一月測候所長ヲ招集シテ第一回氣象協議會ヲ開ク十二月十八日觀測課ヲ地理局氣象課ト改稱內務二等技師荒井郁之助課長トナル○明治二十二年九月在佛國休職內務五等技師和田雄治ヲシテ同地ニ開設セル萬國氣象公會ニ參列セシム○明治二十三年八月二日中央氣象臺官制ヲ定メ統計、觀測、豫報ノ三課ヲ置カル內務二等技師荒井郁之助臺長トナリ內務四等技師小林一知統計課長同五等技師中村精男觀測兼豫報課長トナル○明治二十四年三月三十一日臺長荒井郁之助罷メ內務四等技師小林一知臺長代理ヲ命セラル同日クニツピング滿期解備四月二十三日內務五等技師中村精男統計兼觀測課長同和田雄治豫報課長トナル六月地方測候所長ヲ招集シテ第二回氣象協議會ヲ開ク七月一日「メートル」法度量衡記號ヲ定ム七月二十四日官制改正技師一人技手五人書記一人ヲ削減セラル

八月十六日中央氣象臺技師小林一知臺長ニ補セラル○明治二十五年六月十五日氣象信號標式ヲ定ム同日ヨリ東京地方天氣豫報ヲ發ス○明治二十六年十月三十日官制改正技師試補ヲ削除シ技師一人書記一人ヲ減セラル十二月二十一日中央氣象臺技師正野信之助觀測課長心得ヲ命セラルレ同月事務室改築并ニ書籍室新築落成○明治二十七年五月測候所長ヲ招集シ第三回氣象協議會ヲ開ク九月十六日已降日々廣島測候所ニ全國氣象ヲ電報シ大本營へ通報セシム○明治二十八年四月一日文部大臣ノ管理ニ移屬セラル四月十七日旅順口大總督府へノ氣象電報ヲ開始ス四月二十八日ヨリ京都測候所ニ全國氣象ヲ電報シ大本營ニ通報セシム六月二十八日豫備海軍大尉郡司成忠ニ千島地方氣象調査ヲ囑託ス八月三十日臺長小林一知罷メ技師中村精男臺長トナル同日山口高等學校教授頓野廣太郎本臺技師ニ任セラレ統計課長トナル九月十日福岡縣士族野中至ニ富士山頂滯在中氣象觀測ヲ囑託ス十一月二十七日風力計臺新築成ル○明治二十九年三月七日氣象通報并ニ氣象器械檢定規程ヲ定メラル三月三十日官制改正技師五人書記一人ヲ增加セラル四月一日ヨリ本臺技師ヲシテ電氣通信ヲ取扱ハシム四月八日在品川暴風警報信號標ノ取扱ヲ日本海員接濟會幹事山田毅ニ囑託ス五月技師和田雄治ヲ鹿兒島縣下大島沖

繩縣下石垣島ニ遣シ附屬測候所敷地ヲ撰定セシム六月二十四日明治二十七八年事件ノ功ニ依リ前臺長小林一知并ニ中村臺長和田豫報課長ニ勳章及ヒ金員豫報課技師ニ金員ヲ下賜セラル九月二十五日技師頓野廣太郎罷メ十月十四日技師正野信之助技師ニ任セラル十一月十七日小笠原島司阿利孝太郎ニ同島氣象觀測ヲ囑託ス十二月五日大島及石垣島附屬測候所ヲ開始ス技師正野信之ヲ大島測候所主任技師石田三之ヲ石垣島測候所主任トス○明治三十年六月測候所長ヲ招集シテ第四回氣象協議會ヲ開ク十二月十三日中央氣象臺長職務規程ヲ定メラル同月二十六日磁力計室改築成ル○明治三十一年三月五日氣象臺測候所條例施行細則改正七月十四日官制改正同月同日中央氣象臺附屬測候所勤務ノ者ニ月手當給與ノ件發令同月十六日中央氣象臺附屬測候所職員月手當給與細則ヲ定メラル同月十七日技師正野信之ヲ大島測候所長技師石田三之ヲ石垣島測候所長トス十月二十三日官制改正技師四人書記一人ヲ減セラル十二月石垣島測候所長石田三之罷メ技師岩崎卓爾ニ所長心得ヲ命ス○明治三十二年三月三十一日官制改正技師四人書記一人ヲ增加セラル四月大島測候所長下野信之罷メ技師岩崎卓爾ニ所長心得ヲ命ス五月一日商船學校教諭馬場信倫本臺技師ニ兼任五月二十五日技師南部實規ニ石垣島測候

所長心得ヲ命セシモ十月十一日罷メ九月十四日技手矢崎習吉ヲ大島測候所長ニ技手岩崎卓爾
ヲシテ石垣島測候所長トス十一月五日事務室増築落成ス○明治三十三年一月技師中村精男ヲ
佛國巴里ニ遣シテ萬國氣象公會ニ參列セシム同月二十三日技師和田雄治ニ臺長歐米出張中事
務代理ヲ命ス四月十六日長崎測候所技手武林貞次郎ニ海外氣象電報轉報ニ關スル事務ヲ囑託
ス翌月同氏死去更ニ之ヲ同測候所技手平山順三郎ニ囑託ス五月二十日ヨリ氣象觀測練習會ヲ
開キ十一月閉會ス六月十四日山階宮殿下臨臺七月十九日官制改正技師技手書記各一人ヲ增加
セラル七月二十八日技手大石和三郎技師ニ任セラレ統計課長トナル十一月二十三日技師中村
精男歸朝○明治三十四年三月測候所長等ヲ招集シテ第五回氣象協議會ヲ開ク六月七日八丈島
廳書記松下義男全河合源太郎ニ八丈島氣象觀測事務ヲ囑託ス七月三十一日小笠原島廳技手川
手文同雇太田靖同農事試驗場囑託川上淺藏ニ小笠原島氣象觀測事務ヲ囑託ス十一月三十日
本海員掖濟會幹事山田毅ノ警報信號標信號取扱囑託ヲ解キ同會品川事務所長齋藤鏡一郎ニ之
ヲ囑託ス十二月三十一日長崎測候所技手平山順三郎ノ海外氣象電報轉報ニ關スル事務囑託ヲ
解ク○明治三十五年一月一日以降海外氣象電報ヲ直接ニ受領ス同月二十八日商船學校教授兼

中央氣象技師馬場信兼官ヲ免セラル同月三十一日八丈島廳書記松下義男ノ同島氣象觀測事
務囑託ヲ解ク二月二十八日八丈島廳書記大阪辰衛ニ同島氣象觀測事務ヲ囑託ス七月二十五日
大島測候所長技手矢崎習吉所長ヲ免シ技手野田初藏ニ同所長心得ヲ命ス八月三十一日八丈島廳
書記大阪辰衛ノ同島氣象觀測事務囑託ヲ解ク○明治三十六年一月一日氣象電報取扱規則及天
氣象報暴風警報規則改定同月同日以降暴風警報ヲ警戒區域ニ係ラス警戒ノ都度地方測候所ニ
通知ス

○氣象觀測　ハ創業當時ニ於テハ午前九時半午後三時半及午後九時半ニ於テ毎日三回宛施
行セシカ明治九年十月一日ヨリ更ニ午前三時半ノ一回ヲ加ヘ又別ニ午前零時、三時、六時、九
時、正午、午後三時、六時、九時ノ八回觀測ヲ開始シ明治十一年一月一日ヨリ北米合衆國ノ依頼
ニ應シ綠威正午ニ於ケル萬國同時觀測ヲ始メタリ明治十五年七月一日ヨリ更ニ京都時午前六
時午後二時午後十時ノ三回ヲ加ヘ明治十九年一月一日從前ノ諸觀測ヲ廢シ京都時ヲ以テ毎時
觀測ヲ開始シ明治二十一年更ニ現今ノ中部標準時毎時觀測ニ改メタリ氣象觀測ニ使用スル度
量衡及溫度ハ當初英法及華氏ニ據リシガ明治十五年五月内務省ニ於テ陸軍、海軍、文部、工部、

農商務ノ各省ヨリ委員ヲ徵シテ度量衡等ニ關スル調査會ヲ開キ而シテ該委員會ノ決議ニ基キ同年七月一日ヨリ「メートル」法及攝氏ノ度ヲ採用シ明治二十六年一月一日ヨリ氣象電報ニ用フル晴雨計ノ示度ニハ重力ノ補正ヲ施シ又明治三十一年七月一日ヨリ寒暖計ノ示度ハ水素寒暖計ニ據ルコトトナシタリ

○高層氣象觀測　ハ明治二十一年八九兩月間伊勢國御在所嶽ニ内務屬正戸豹之助等ヲ遣シ施行シタルヲ嚆矢トシ二十二年八九兩月間富士山頂ニ於テ二十四年八九兩月信濃國御嶽山頂ニ於テ二十六年一二兩月常陸國筑波山頂ニ於テ二十七年八九兩月伊豫國石鎚山頂ニ於テ二十八年八九兩月富士山頂ニ於テ施行ス

○空中電氣　ノ觀測ハ明治八年六月バルミエリ氏驗電器ヲ用ヒテ之ヲ開始シ明治十五年之ヲ廢ス明治二十年佛國ヨリマスカール氏ノ自記器械ヲ購入シ同二十一年二月一日開始シタリ

○磁力觀測　ハ始メ明治十五年佛國政府ノ依頼ニ應シ萬國協同極北遠征中磁力ノ觀測ヲ爲スノ目的ヲ以テ工部省電信局ト協議シ工部大學校助教藤岡市助電信局技手吉田正秀内務省

御用掛中村精男同和田雄治ヲ委員トシ赤阪區今井町四十二番地工部省用地ニ臨時觀測所ヲ設ケ三月十五日其觀測ヲ開始シ明治十九年三月十五日迄之ヲ繼續シ又明治二十年佛國ヨリマスカール氏自記器械ヲ購求シ地中室ニ裝置シ明治二十一年二月一日其觀測ヲ開始シ今日ニ至ル

○地震觀測　ハ明治八年六月已來伊國バルミエリ氏地震計ニ依テ施行シ來リシカ明治十六年八月グレイ、ミルン氏ノ地震計ニ改メ其後數回ノ改良ヲ經テ遂ニ現今ノ有様ニ至レリ又明治十七年十一月地震觀測法ヲ印刷シ地震報告式ヲ定メ郡區役所ニ依頼シテ地震報告ヲ徵シ全國地震調査ヲ開始シテ今日ニ及ブ

○暴風警報天氣豫報　明治九年五月東京氣象臺主任シヨイナル暴風信號標建設ノ必要ヲ建議シ後又地理局測量課長小林一知荒井郁之助等其効用ヲ唱道シ地理局長櫻井勉又其必要ヲ認メ或ハ官ニ請フテ直接測候所ヲ建設シ或ハ地方官ヲ勸誘シテ測候所ヲ起サシメ明治十四年末ニ至リテ既ニ十餘箇所ノ測候所ヲ得稍、暴風警報ノ事業ヲ起シ得ヘキノ時機ニ達シタルヲ以テ周旋怠ラス遂ニ事業開始ニ必要ナル經費ヲ得明治十五年一月一日獨逸人エルヴン、クニツピングヲ聘備シテ警報事務創立ノ事ヲ擔當セシメタリ之ニ關シテハ農商務少輔品川彌二郎ノ

斜旋モ亦與テ大ニカアリシト云フ明治十六年二月十六日始メテ各測候所午前六時ノ觀測ヲ電報ニ集メ天氣圖ヲ調製シ三月一日ヨリ日々之ヲ印刷シテ官衙其他ニ配布シタリ明治十七年六月一日ヨリ午前六時午後二時午後九時ノ三回ニ氣象電報ヲ徵集シ其度毎ニ天氣圖ヲ調製印刷シ明治二十一年四月一日天氣圖ノ印刷ヲ毎日一回ニ改メタリ○暴風警報ハ明治十六年五月二十六日始メテ之ヲ發シ其電報式ハ爾來數回ノ改良ヲ經テ遂ニ今日ノ式トナリタリ○天氣豫報ハ明治十七年六月十六日全國ヲ七箇ノ氣象區ニ別テ毎日三回各區ノ天氣豫報ヲ發シタルヲ嚆矢トシ明治二十一年迄繼續シ同年三月一日ヨリ毎日一回ニ改メ官報ニ掲載シ明治二十五年六月十五日新ニ東京地方天氣豫報ヲ加ヘ明治三十六年一月一日ヨリ氣象區ヲ十區ニ改メ且午前六時ノ天氣圖ニ依リ天氣豫報ヲ發スルコトニ改メタリ○氣象電報ハ明治十四年六月測候所ニ通知シテ天候異常ノ際其觀測ヲ電報セシメタルヲ嚆矢トシ明治十六年一月太政官ニ請フテ各測候所ヨリ毎日一回無稅電報ヲ受クルノ許可ヲ得十七年五月毎日三回無稅電報ノ許可ヲ得二十年十二月無稅ニテ各測候所ニ暴風警報ヲ電報シ及測候所ヨリ臨時電報ヲ受クルノ許可ヲ得明治二十五年又無稅地震電報ノ許可ヲ得明治三十六年一月一日ヨリ暴風警報ハ警戒區域ニ係

ラス發布ノ都度測候所ニ電報シ得ルニ至リ又同日以降電報式ヲ改定實施ス

○海外氣象電報　ハ明治十六年八月十三日先是在長崎丁抹大北電信會社ノ好意ニ依リ日々長崎測候所へ發送シ來リシ浦潮斯德、上海、廈門、香港ノ氣象電報ヲ無稅ニテ日々本臺ハ轉報スルコト、ナリ明治三十二年十二月二十日毎日二回韓國仁川ノ氣象電報ヲ開始シ又十二月二十六日毎日一回ニルサコースク及アレキサンドロースクノ氣象電報ヲ開始シタリ

○報告　創業當時ニ於テハ未ダ氣象報告書ヲ作ラス明治八年十一月之ヲ「橫濱」メ「ル」新聞ニ掲ケ同十二月之ヲ東京日々新聞ニ掲ケタリシカ明治九年三月始メテ五日表、月報、及半年報ヲ印刷シ爾後明治十八年迄引續キ四回觀測ノ月報及年報ヲ刊行シ十八年ヨリ八回觀測ノ月報年報ニ改メ十九年ヨリ又毎時觀測ノ月報ニ改メタリ其間明治十四年一月東京氣象五年報ヲ刊行シ十八年八回觀測ノ十年報ヲ刊行シタリ全國ノ氣象ニ關シテハ測候所ノ設置ニ隨ヒ漸次ニ三回觀測月年報ヲ印刷シ明治十九年一月已來六回觀測ノ月年報ヲ刊行ス而シテ諸報告ノ内容并ニ體裁ハ漸次改良ヲ加ヘ明治二十四年ヨリ遂ニ現今ノ式トナリタリ其他明治十七年來毎年氣象略報ヲ刊行シテ全國氣象概況天氣豫報暴風警報等ノ成績ヲ掲ケ明治十九年來毎年地震

報告ヲ明治二十三年來雨量報告ヲ刊行シ又高層氣象觀測ヲ施行シタル際ニハ臨時其報告書ヲ刊行シタリシカ明治二十四年ヨリ氣象略報地震報告ハ雨量報告及地震氣空中電氣調査ノ成績等ヲ合シ年報二編トシテ刊行シ明治三十三年一月ヨリ毎月氣象要覽ヲ刊行シテ全國各地ニ於ケル氣象ノ大要ト著明ノ現象トヲ掲クルコトトシタリ

○氣象通報 明治二十六年七月天氣電報式ヲ定メ電信料ヲ徴シ地方測候所ノ依頼ニ應シ天氣電報ノ發送ヲ開始セシカ爾來警報豫報等ノ通報ヲ望ム者漸次増加シタルニ依リ明治二十九年三月文部省令第二號ヲ以テ氣象通報規程ヲ設ケラレ手数料ヲ徴シテ天氣、警報、豫報ノ諸電報ヲ一般ニ發送スルコト、ナリ爾後三十年九月三十二年三月三十三年九月及三十五年十二月改正ヲ經途ニ現行ノ省令トナリタリ

○氣象器械檢定 當初ハ地方測候所ニ於テ使用スベキ器械ノ良否ヲ檢定スルニ止マリシガ氣象器械ノ應用漸次ニ廣マリ器械ノ檢定ヲ請フモノ年々増加シタルニ依リ明治二十九年三月文部省令第三號ヲ以テ氣象器械檢定規程ヲ定メラレ爾來手数料ヲ徴シテ一般ノ需メニ應スルコト、ナリ該省令ハ三十年九月ノ改正ヲ經テ現行ノモノトナリタリ

○地方測候所視察 明治十五年九月地理局備クニッピングヲシテ全國測候所ヲ巡回視察セシメ十九年八月内務五等技師和田雄治ヲシテ全國測候所並ニ燈臺等ヲ巡回シ器械ノ比較等ヲ爲サシメ爾後毎年技師ヲ發シテ地方測候所ヲ巡回シ大約滿五ヶ年ヲ以テ全國ヲ一巡セシム

○海外氣象事業視察 明治十九年二月内務一等屬中村精男ニ非職ヲ命シテ歐洲留學ヲ許可シ歐洲ノ氣象事業ヲ調査セシメ明治二十二年三月歸朝明治二十一年地理局備クニッピングニ賜暇歸省ヲ許可シ旁ラ歐米氣象臺ヲ巡回セシメ明治二十二年四月内務五等技師和田雄治ニ非職ヲ命シ歐洲留學ヲ許可シ歐米氣象事業ヲ調査セシメ又同年九月巴里ニ於テ開設シタル萬國氣象公會ニ參列ヲ命シタリ明治二十四年三年歸朝明治三十年三月中央氣象臺技師中村精男ヲ朝鮮國ニ遣シ同國ノ氣象事業ヲ視察シ兼テ氣象電報交換ノ協議ヲ爲サシメ同年十二月中央氣象臺技師和田雄治ヲ上海徐家滙、廈門、香港等ニ遣シ氣象事業ヲ觀察シ兼テ氣象電報上ノ協議ヲ爲サシメ明治三十一年八月中央氣象臺技師正戸豹之助ヲ韓國元山及露國浦鹽斯德ニ遣シ氣象事業ヲ視察セシメ明治三十二年十月技師和田雄治ヲ清國北京芝罘、韓國京城仁川釜山等ニ遣シ氣象事業ヲ視察シ并ニ氣象電報交換等ノ事ヲ協議セシメ明治三十三年一月技師中村精男

ヲシテ歐米ノ氣象事業ヲ視察シ同年九月巴里ニ於テ開設シタル萬國氣象公會ニ參列セシメ同年十二月技師和田雄治ヲシテ馬尼刺香港等ノ氣象事業ヲ視察セシメ明治三十四年十一月技師馬場信倫ヲシテ徐家滙及香港ノ氣象事業ヲ視察セシメタリ

〇二 法令規則

〇氣象臺測候所條例

- 第一條 東京ニ中央氣象臺ヲ置キ地方便宜ノ場所ニ地方測候所ヲ置ク其位置ハ文部大臣之ヲ指定ス
- 第二條 前條ノ外測候所ヲ設置セントスル者アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ク可シ
- 第三條 中央氣象臺ハ文部大臣之ヲ直轄シ地方測候所ハ地方長官之ヲ管理シ文部大臣之ヲ監督ス其他ノ測候所ハ地方長官之ヲ監督ス
- 第四條 地方測候所ノ費用ハ該測候所所在地ノ地方稅ヲ以テ支辨ス可シ
- 第五條 中央氣象臺及各測候所ハ事業上互ニ氣脈ヲ通シ通信ヲ爲スヘシ

第六條 本條例施行ニ關スル細則ハ文部大臣之ヲ定ム

〇氣象臺測候所條例施行細則

- 第一條 中央氣象臺ハ全國氣象事業ヲ統轄シ全國ノ氣象ヲ調査シ全國ニ天氣豫報暴風警報ヲ發シ及氣象器械ノ檢定ヲ爲ス所トス
- 第二條 地方測候所ハ所在地ノ氣象ヲ觀測シ所屬應管内ノ氣候ヲ調査シ並ニ中央氣象臺ノ天氣豫報ニ基キ地方天氣豫報ヲ發スル所トス
地方測候所ハ公私ノ依頼ニ應シ天氣豫報暴風警報ノ通報ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 測候所ヲ分テ一等二等トス
一等測候所ハ晴雨計寒暖計乾濕計最高最低寒暖計日溫計地溫計地中寒暖計風力計風信器雨量計蒸發計日照計地震計等ヲ備ヘ毎時觀測ヲ爲スヘシ
二等測候所ハ晴雨計寒暖計乾濕計最高最低寒暖計風力計風信器雨量計地震計等ヲ備ヘ一日六回ノ觀測ヲ爲スヘシ

第四條 測候所ハ前條備付ノ器械中日照計及地震計ヲ除ク外ハ豫備器ヲ備フヘシ

第五條 測候所ハ中央氣象臺ヨリ暴風警報ヲ受クタルトキ又ハ天候不穩ト認メタルトキハ中央氣象臺長ノ定メタル方法ニ依リ臨時觀測ヲ爲スヘシ

第六條 測候所ハ中央氣象臺ニ左ノ報告ヲ爲スヘシ

氣象電報 氣象月報 氣象年報 一周年事業報告 氣象五年報 暴風報告 雷雨報告
地震報告 積雪報告 動物報告 植物報告 雜報

第七條 測候所ハ互ニ氣象月報氣象年報及氣象五年報ヲ交換スヘシ

第八條 測候所ハ中央氣象臺ヨリ天氣豫報又ハ暴風警報ヲ受クタルトキハ直ニ之ヲ揭示スヘシ

第九條 測候所ノ觀測ノ方法器械ノ品位報告ノ書式及期限天氣豫報要語又ハ氣象信號標式等ハ文部大臣ノ認可ヲ得テ中央氣象臺長之ヲ定ム

第十條 測候所ニ於テ地方天氣豫報ヲ發スルニハ一箇年間天氣豫考ヲ爲シ其成績表ヲ添ヘ地方測候所ハ地方長官ニ於テ其他ノ測候所ハ地方長官ヲ經由シテ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 測候所ハ毎月地方天氣豫報ノ適否ヲ取調ヘ中央氣象臺長ニ通知スヘシ

第十二條 條例第一條ニ依リ地方測候所ヲ設立セントスルトキハ左ノ諸件ヲ詳記シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 敷地建物ノ坪數及其附近ノ地勢ヲ示スニ足ルヘキ圖面

二 建物ノ構造

三 等級

四 所員ノ數

五 使用スキヘ器械ノ明細書

六 經費豫算書

第十三條 地方測候所ノ敷地建物ヲ變更セントスルトキハ前條第一及第二ノ件ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

地方測候所ノ等級ヲ變更セントスルトキハ前條第四乃至第六ノ件ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 地方測候所經費豫算額ノ決定シタルトキ及備付器械又ハ所員ニ異動アリタルトキハ其都度文部大臣ニ開申シ同時ニ中央氣象臺長ニ通知スヘシ

第十五條 條例第二條ニ依リ測候所ヲ設置セントスルトキハ左ノ諸件ヲ詳記シ地方長官ヲ經由シテ文部大臣ノ許可ヲ請フヘシ

- 一 敷地建物ノ坪數及其附近ノ地勢ヲ示スニ足ルヘキ圖面
- 二 建物ノ構造
- 三 等級
- 四 測候事業ニ従事スル者ノ員數
- 五 使用スヘキ器械ノ明細書
- 六 維持ノ方法

第十六條 前條測候所ノ敷地建物若クハ等級ヲ變更セントスルトキハ第十三條ニ準據シ地方長官ヲ經由シテ文部大臣ノ許可ヲ請フヘシ又其他ノ事項ニ異動アリタルトキハ地方長官ヲ經由シテ文部大臣ニ届出テ同時ニ中央氣象臺長ニ通知スヘシ

第十七條 第十五條ノ測候所ヲ廢止セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ地方長官ヲ經由シテ文部大臣ニ届出ツヘシ

第十八條 文部大臣ハ隨時中央氣象臺技師ヲシテ測候所ヲ巡閱セシム

第十九條 條例第四條ノ地方測候所費ハ北海道廳ニ於テハ本廳費沖繩縣ニ於テハ地方費ヲ以テ支辨スヘシ

第二十條 警報信號標ハ中央氣象臺長ノ定メタル氣象信號標式ニ據リ設立スヘシ

第二十一條 郡市町村又ハ人民ニ於テ新ニ警報信號標ヲ設立セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ請フヘシ

第二十二條 地方長官新ニ警報信號標ヲ設立シ若クハ其設立ヲ許可シタルトキハ實施ヨリ少クモ三十日前左ノ諸件ヲ詳記シ文部大臣ニ開申シ同時ニ中央氣象臺長ニ通知スヘシ

- 一 位置及地勢(畧圖ヲ添フルヲ要ス)
- 二 信號柱ノ高さ及信號ノ種類
- 三 維持ノ方法(設立ノ費途ヲモ記載スルヲ要ス)

四 管理者

第二十三條 警報信號標ニ異動ヲ生シタルトキハ地方長官ハ之ヲ文部大臣ニ開申シ同時ニ中央氣象臺長ニ通知スヘシ

第二十四條 前二箇條ノ場合ニ於テハ文部大臣之ヲ告示ス

附 則

第二十五條 地方長官又ハ測候所設立者ハ此規則施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ既設測候所ニ係ル第十二條及第十五條ノ諸件ヲ文部大臣ニ開申スヘシ

○官制

第一條 中央氣象臺ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ氣象ニ關スル事項ヲ攻究シ氣象事業ヲ統轄ス

第二條 中央氣象臺ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 全國氣象ノ調査及報告
- 二 暴風警報

三 天氣豫報

四 氣象通報

五 氣象器械檢定

六 氣象、地磁氣、空中電氣、地震等ノ觀測

第三條 中央氣象臺ニ左ノ職員ヲ置ク

臺長

技師

技手

書記

第四條 臺長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ文部大臣ノ指揮監督ヲ承ク臺務ヲ管理シ所屬職員ヲ統轄ス

第五條 技師ハ專任四人奏任トス臺長ノ指揮ヲ承ク臺務ヲ分掌ス

第六條 技手ハ專任十五人判任トス上官ノ指揮ヲ承ク中央氣象臺又ハ附屬測候所ノ事務ニ從

事ス

- 第七條 書記ハ專任四人判任トス上官ノ指揮ヲ承ク庶務ニ從事ス
 - 第八條 事務ノ分課ハ文部大臣之テ定ム
 - 第九條 中央氣象臺ニ附屬測候所ヲ置ク其ノ位置ハ鹿兒島縣下大島沖繩縣下石垣島トス
 - 第十條 附屬測候所ニ所長ヲ置キ中央氣象臺技手ヲ以テ之ニ充ツ
- 所長ハ臺長監督ノ下ニ於テ測候所ノ事務ヲ掌理ス

○事務分課

觀測課

- 一 氣象觀測ニ關スル事務
- 一 地震驗測ニ關スル事務
- 一 地磁氣驗測ニ關スル事務
- 一 空中電氣驗測ニ關スル事務

一 氣象觀測器械検査ニ關スル事務

統計課

- 一 氣象報告ニ關スル事務
- 一 氣象調査ニ關スル事務

豫報課

- 一 天氣豫報ニ關スル事務
- 一 暴風警報ニ關スル事務
- 一 氣象電報ニ關スル事務

○事務分掌

庶務掛

- 一 職員ノ身上ニ關スル事務
- 一 機密文書ニ關スル事務

- 一各課掛ニ關セサル事務
- 一各課掛ノ發議及回議ノ審査
- 一諸文書ノ整理
- 一氣象協議會及氣象觀測練習會ニ關スル事務
- 一氣象器械參觀人ニ關スル事務
- 一一周年事務報告
- 一事務所及構内ニ係ル取締向
- 一所屬器具及書類簿冊ノ保管
- 一各測候所員名簿ノ整理
- 一電話ノ往復
- 往復掛
- 一文書ノ受授
- 一文書ノ往復及公文ノ淨書

- 一本臺ノ刊行ニ係ル氣象報告類ノ配送
- 一所屬器具書類簿冊ノ整理及保管

會計掛

- 一歲入歲出ノ豫算決算及收支ノ調理
- 一帳簿ノ登錄
- 一官有財産及物品ノ出納保管
- 一本臺使用土地建物ノ保管
- 一湯呑所渡シ諸品及薪炭類消費上ニ係ル監督
- 一傭人ノ進退并取締ニ關スル事務
- 一物品等購入ニ關スル事務
- 一所屬器具及書類帳簿ノ保管
- 圖書掛
- 一圖書ノ整理及保管并貸與方取扱

- 一 圖書借入及返納ニ關スル事務
 - 一 歐米學術雜誌類ノ保管
 - 一 本臺觀測原簿及報告類并各官廳地方測候所其外ヨリ送付ノ圖書雜誌及報告類ノ保管
 - 一 海外氣象臺報告類ノ保管
 - 一 海外氣象臺トノ交換ニ係ル報告類ノ送受
 - 一 所屬器具書類簿冊ノ保管
- 登 記 掛
- 一 氣象通報依頼ニ關スル事務
 - 一 氣象器械檢定依頼ニ關スル事務
 - 一 通報及檢定手数料收入及支出豫算ニ關スル事務
 - 一 所屬器具及書類簿冊ノ保管

觀 測 課

測 候 掛

- 一 東京氣象觀測
 - 一 諸觀測原簿登記及計算
 - 一 諸觀測累年日平均半旬期平均原簿登記及計算
 - 一 東京地震觀測
 - 一 東京定時氣象報告原稿調製
 - 一 萬國同時東京氣象月表編製
 - 一 天氣圖用氣象報告
 - 一 觀測見習生へ實地傳習
 - 一 氣象器械參觀人ニ對スル説明
 - 一 所屬諸器械及帳簿等ノ保管
- 器 械 掛
- 一 氣象器械檢定
 - 一 本臺備付諸器械ノ整理

- 一新規諸器械ノ据付
- 一自記諸器械ノ整理及測算
- 一氣象器械參觀人ニ對スル説明
- 一諸縣ヨリノ依頼ニ係ル器械發送ノ際荷造等ノ監査
- 一所屬器具器械及帳簿ノ保管

統計課

調査掛

- 一全國氣象觀測上結果ノ諸調査
- 一海上氣象ニ關スル調査及報告書編纂
- 一全國地震調査及報告書編纂
- 一全國雨雪、雷雨等ノ調査及報告書編纂
- 一天氣豫報及暴風警報ニ係ル適否ノ調査
- 一各測候所ノ觀測ニ係ル月報ノ登記及累年平均ノ計算

- 一元山、仁川、浦潮港等ノ氣象調査
- 一地磁氣、空中電氣ノ調査及報告書編纂
- 一所屬器具器械及簿冊等ノ保管

報告掛

- 一統計年鑑及文部省其他ノ年報用氣象ノ調査
- 一官報掲載用各地氣象ノ調査
- 一邦曆掲載用各地氣象ノ調査
- 一氣象概況年報及月報ノ調査
- 一氣象要覽ノ調査
- 一氣壓氣温雨量等失順ニ係ル報告
- 一地震ニ關スル報告
- 一初終雪霜並異常現象ニ係ル報告
- 一所屬器具及簿冊等ノ保管

校 閱 掛

- 一 中央氣象臺及各測候所月報及年報ノ検査
- 一 中央氣象臺及各測候所月報及年報印刷ノ校合
- 一 所屬器具及簿冊報告類ノ保管

豫 報 課

豫 報 掛

- 一 天氣圖調製ニ關スル事務
- 一 天氣豫報、暴風警報及氣象通報ニ關スル事務
- 一 内外氣象電報、特別電報、氣象通報電報ニ關スル事務
- 一 暴風概況原稿調製
- 一 氣象略報原稿調製
- 一 所屬器具帳簿等ノ保管
- 一 天候問合ノ應接

電氣通信掛

- 一 諸官報ノ送受
- 一 内外氣象電報及特別電報ノ送受
- 一 氣象通報電報ノ送受
- 一 所屬器具帳簿等ノ保管

○中央氣象臺長職務規程

第一條 臺長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及ト高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ申稟スルコトヲ得

第二條 在官者若クハ官職ヲ有セサル者ニ氣象事務ヲ囑託スルハ文部大臣ノ許可ヲ得ルヲ要ス

第三條 左ノ事項ハ臺長ノ判行ニ任ス

第一 判任官以下職員ノ除服出仕及請暇ニ關スル事

第二 判任官以下ノ職員ニ各地出張ヲ命スル事

第三 雇員ノ俸給月額貳拾圓以下ノ者ノ進退ニ關スル事

第四條 臺長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第五條 左ノ事項ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ後施行スヘシ

第一 規則ヲ定ムル事

但各課掛ノ事務分掌及事務取扱上ニ關スル規則及既定規則ノ範圍内ニ於テ其細則ヲ設クルハ此限ニアラス

第二 地所及建物ヲ増減スル事

第三 圖書ヲ印行スル事

但氣象報告類規則書其他例規アルモノハ此限ニアラス

第四 經費中ノ目ヲ流用スル事

第五 右ノ外例ナキ重大ノ事件ヲ處置スル事

第六條 臺長ハ每會計年度ノ終ニ於テ前年ノ功程ヲ具ヘ文部大臣ニ報告スヘシ

○中央氣象臺附屬測候所勤務ノ者ニ月手當給與ノ件

中央氣象臺附屬測候所勤務ノ者ニハ別表定ムル所ニ依リ月手當ヲ給ス其給與細則ハ文部大臣之ヲ定ム

所長 參拾圓以内

技手 貳拾圓以内

雇 拾貳圓以内

○中央氣象臺附屬測候所職員月手當給與細則

第一條 中央氣象臺附屬測候所職員ノ月手當金ハ任地着翌日ヨリ任地替等ノ爲メ其地出發前日マテ之ヲ支給ス

第二條 他廳へ轉任セシ者ノ月手當金ハ其發令當日迄退官又ハ非職トナリシ者ノ月手當金ハ

辭令接受ノ當日迄之ヲ支給ス但退官又ハ非職者ニシテ特ニ事務引繼ヲ命シタルトキハ事務引繼當日迄之ヲ支給ス

第三條 歸省其他私事旅行中ノ日數ハ月手當ヲ支給セス

第四條 任地替ノ爲メ月手當金ノ増減ハ總テ其任地着翌日ヨリ計算ス

第五條 在勤中死亡セシ者ノ其月分ノ手當金ハ全額ヲ支給ス

第六條 第一條乃至第四條ノ場合ニシテ一箇月未滿トナル月手當金ハ總テ其月ノ日割ヲ以テ計算ス

第七條 月手當金ハ毎月末日支給スルモノトス但休暇日ニ當ルトキハ繰上ケトス

○中央氣象臺氣象通報規程

第一條 中央氣象臺ニ氣象ノ通報ヲ依頼スル者ハ此規程ニ據ルヘシ

第二條 氣象ノ通報ヲ依頼スル者ハ收入印紙ヲ以テ手数料ヲ納ムヘシ一旦納付シタル手数料ハ如何ナル事故アルモ還付セス

第三條 氣象通報一回ノ手数料金額ハ左ノ種別ニ從ヒ之ヲ定ム但暴風警報ハ警戒及解除ノ通報ヲ各一回トス

種別	普通電報ヲ以テ通報スル料金	至急電報ヲ以テ通報スル料金
氣象區天氣豫報	金 貳拾八錢	金 五拾八錢
同上高低氣壓ノ位置及氣壓度付	金 參拾八錢	金 六拾八錢
東京地方天氣豫報	金 貳拾八錢	金 四拾八錢
全國天氣實況	金 七拾參錢	金 壹圓四拾八錢
暴風警報	金 貳拾八錢	金 四拾八錢

第四條 別使配達ヲ乞フ者及解船配達ヲ要スル者ハ第三條ニ規定スル手数料ノ外一回毎ニ金貳拾錢ヲ併納スヘシ

第五條 氣象ノ通報ハ中央氣象臺ニ於テ規定シタル事項ノ外依頼ニ應セス但測候所若クハ官廳等ノ依頼ニ限リ特別ノ通報ヲ爲スコトアルヘシ其手数料ハ中央氣象臺長ノ定ムル所ニ依

ル

第六條 氣象ノ通報ハ中央氣象臺ニ於テ規定シタル符號式ニ依ル

第七條 氣象ノ通報ハ中央氣象臺ニ於テ發送シタル後萬一不達ノコトアルモ該臺ハ其責ニ任セズ

第八條 氣象ノ通報ヲ依頼セントスル者ハ左式ノ依頼書ヲ作り其手数料金ニ相當スル收入印紙ヲ貼付シ中央氣象臺ニ差出スヘシ

書式(用紙美濃紙但一葉一種ニ限ル)

通報依頼書

收入印用 ヲ貼付ス ヘシ	一通報種別
--------------------	-------

第何々氣象區 天氣豫報
若クハ全國
同上高低氣壓ノ天氣豫報
位置及氣壓度付
東京地方天氣豫報
全國天氣實況
第何々氣象區 暴風警報
若クハ全國

- 一 通報種類 何月何日ヨリ何月何日マテ何十何日間若クハ何月何日以降何十何回(但一會計年度以内ノ豫定トス)
 - 一 電報種類 普通電報若クハ至急電報
 - 一 届先 何國何郡何市何町何番地氏名
 - 一 最近電信局 何郵便電信局若クハ何電信局
 - 一 最近電信局マテノ距離 何十何町
 - 一 別使若クハ解船配達 有無
- 右通報相成度及御依頼候也

年月日

依頼者

住所

氏名

中央氣象臺長氏名殿

第九條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○中央氣象臺氣象器械檢定規程

第一條 中央氣象臺ニ氣象器械ノ檢定ヲ依頼スル者ハ此規程ニ據ルヘシ

第二條 檢定ヲ了シタル器械ニハ器差ヲ示シタル檢定證ヲ交付ス

前項ノ檢定證ヲ分テ甲乙二種トス器差、齊整ニシテ精密ナル觀測用ニ適スト認ムルモノニハ甲號證ヲ交付シ其他ノモノニハ乙號證ヲ交付ス

第三條 氣象器械ノ檢定ヲ依頼スル者ハ收入印紙ヲ以テ手数料ヲ納ムヘシ一旦納付シタル手数料ハ如何ナル事故アルモ還付セス

第四條 氣象器械檢定手数料ノ金額ハ器械ノ種類檢定ノ難易ニ依リ本條各項ノ範圍内ニ於テ中央氣象臺長之ヲ定ム

一 水銀晴雨計 金壹圓乃至參圓

一 空盒晴雨計 金參拾錢乃至金壹圓五拾錢

一 寒暖計 金貳拾錢乃至壹圓

一 雨量計 金拾錢乃至五拾錢

一 風力計 金五拾錢乃至壹圓五拾錢

第五條 第四條ニ記載セサル氣象器械ト雖モ時宜ニ依リ檢定ノ依頼ニ應シ且檢定證ヲ交付ス

ルコトアルヘシ此場合ニ於テハ其手数料ハ中央氣象臺長ノ定ムル所ニ依ル

第六條 時日ヲ限り檢定ヲ依頼スル者アルトキハ時宜ニ依リ之ニ應スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ普通手数料ノ二倍ヲ徵收スヘシ但寒暖計ニ限り同人ニシテ六箇以上ノ檢定ヲ同時ニ依頼スルモノ、外ハ普通手数料ノ五倍以内ヲ増徴スヘシ

第七條 檢定證ヲ紛失シ再度交付ヲ依頼スル者アルトキハ該證ノ寫ヲ交付スヘシ此場合ニ於テハ手数料金拾錢ヲ徵收スヘシ

第八條 檢定ノ依頼ニ係ル器械ニハ中央氣象臺ニ於テ檢定中相當ノ保護ヲ加フヘシト雖モ若シ破損スルコトアルモ該臺ハ其責ニ任セス

第九條 中央氣象臺ノ必要上檢定スル所ノ器械ニ對シテハ手数料ヲ徵收セス

第十條 第四條又ハ第六條ノ檢定ヲ依頼セントスル者ハ第一書式又ハ第二書式ノ依頼書ヲ作り第七條ノ檢定證再度交付ヲ依頼セントスル者ハ第三書式ノ依頼書ヲ作り其手数料金ニ相當スル收入印紙ヲ貼付シ中央氣象臺ニ差出スヘシ
各種氣象器械檢定依頼書式左ノ如シ

第一書式（用紙美濃紙但一葉一器ニ限ル）

收入印
紙ヲ貼
付スヘシ

檢定依頼書

何國何某製

一何々々 器械附刻ノ番號

一箇

右檢定相成度及御依頼候也

年月日

依頼者

住所 氏

名印

中央氣象臺長氏名殿

第二書式（用紙美濃紙但一葉一器ニ限ル）

收入印
紙ヲ貼
付スヘシ

檢定依頼書

何國何某製

一何々々 器械附刻ノ番號

一箇

右來ル何月何日迄ニ檢定相成度及御依頼候也

年月日

依頼者

住所 氏

名印

中央氣象臺長氏名殿

第三書式（用紙美濃紙）

收入印
紙ヲ貼
付スヘシ

檢定證再度交付依頼書

一何々檢定證

舊證書番號若クハ器械製造人名番號及舊檢定年月

一枚

右紛失ニ付再度交付相成度及御依頼候也

年月日

依頼者

住所 氏

名印

中央氣象臺長氏名殿

第十一條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○氣象信號標式

一 氣象信號標ヲ分チテ二種トス

警報信號標

豫報信號標

一 警報信號標ハ中央氣象臺ヨリ暴風警報ヲ受ケタル時掲揚シ解報ヲ受ケタル時卸下スルモノトス

但シ信號標下ニ警報ノ全文ヲ揭示スヘキモノトス

一 警報信號標ハ赤球又ハ赤圓錐トス

但シ夜間ハ紅燈壹箇ヲ以テ赤球ニ換ヘ横列二箇ノ紅燈ヲ以テ赤圓錐ニ換フルモノトス
(圖略)

一 赤球ハ海上不穩又ハ海陸ニ風雨ノ虞アルヲ示シ赤圓錐(尖ヲ上トス)ハ暴風雨ノ虞アルヲ示ス

一 豫報信號標ハ中央氣象臺又ハ地方測候所ノ天氣豫報ヲ受ケタル時之ヲ掲揚スルモノトス
一 豫報信號標ハ三角旗、方旗及長旒ノ三類トス

一 三角旗ハ風向ヲ豫報スルモノニシテ其分類左ノ如シ(圖略)

白 (北ノ風) 青 (東ノ風)

赤 (南ノ風) 白赤 (西ノ風)

一方旗ハ天氣ヲ豫報スルモノニシテ其分類左ノ如シ(圖略)

白 (晴レ) 赤 (曇リ)

白赤 (天氣變リ易シ) 青 (雨又ハ雪)

白地赤横十文字 (雪) 白地赤三横線 (霧)

赤地白四角染抜 (霜)

一 長旒ハ温度ノ昇降ヲ豫報スルモノニシテ其分類左ノ如シ(圖略)

青 寒クナル(冬春) 暖クナル(冬春)

涼クナル(夏秋) 赤 熱クナル(夏秋)

全國天氣豫報ニ基キ豫報信號標ヲ揭示セントスル時ハ左ノ規定ニ從フヘシ

一 「北又ハ東ノ風」及「北又ハ西ノ風」ハ「北ノ風」ノ信號標ヲ用フ

一 「南又ハ東ノ風」及「南又ハ西ノ風」ハ「南ノ風」ノ信號標ヲ用フ

- 一「區々ノ風」ハ「信號標ヲ掲ケス」地方天氣豫報中「風ノ向キ定ラス」モ亦之ニ同シ
- 一「概ネ晴レ但シ雨模様ノ所アリ」概ネ晴レ但シ雨又ハ雪模様ノ所アリ」ハ方旗二箇ヲ連掲ス但シ雨雪旗ヲ下トス
- 一「概ネ晴レ但シ雪模様ノ所アリ」ハ方旗二箇ヲ連掲ス但シ雪旗ヲ下トス
- 一「天氣變リ易ク雨模様アリ」天氣變リ易ク雨又ハ雪模様アリ」ハ方旗二箇ヲ連掲ス但シ雨雪旗ヲ下トス
- 一「天氣變リ易ク雪模様アリ」ハ方旗二箇ヲ連掲ス但シ雪旗ヲ下トス
- 一「概ネ曇リ但シ雨模様アリ」概ネ曇リ但シ雨又ハ雪模様アリ」ハ方旗二箇ヲ連掲ス但シ雨雪旗ヲ下トス
- 一「概ネ曇リ但シ雪模様アリ」ハ方旗二箇ヲ連掲ス但シ雪旗ヲ下トス
- 一「霽レル」ハ「晴レ」下同」ノ方旗ヲ用フルモノトス

○天氣豫報暴風警報規則

(天氣豫報信號標ハ三十六年四月一日ヨリ實施ス)

第一章 全國天氣豫報

- 第一條 全國天氣豫報トハ各地ノ氣象觀測ニ基キ翌日ニ於ケル全國氣象ノ大勢ヲ豫告スルモノヲ云フ
- 豫報ノ一日ハ午後六時ニ始マルモノトス
- 第二條 全國天氣豫報ハ毎日午前九時マテニ中央氣象臺ヨリ之ヲ發ス
- 第三條 全國天氣豫報ハ風向晴雨及ヒ氣温ニ就テ之ヲ發ス但シ氣温ノ變化著シカラサルトキハ其豫報ヲ發セス
- 第四條 風向ノ豫報ハ左ノ用語ヲ以テ之ヲ示ス
 - 北ノ風 北ノ方ヨリ吹來ルヲ云フ
 - 東ノ風 東ノ方ヨリ吹來ルヲ云フ
 - 南ノ風 南ノ方ヨリ吹來ルヲ云フ
 - 西ノ風 西ノ方ヨリ吹來ルヲ云フ
 - 區々ノ風 方向一定セサル風ヲ云フ

第五條 晴雨ノ豫報ハ左ノ用語ヲ以テ之ヲ示ス

晴 雲少キヲ云フ

曇 雲多キヲ云フ

雨 雨降ルヲ云フ

雪 雪降ルヲ云フ

第六條 氣温ノ豫報ハ左ノ用語ヲ以テ之ヲ示ス

温度昇ル 氣温ノ前日ヨリ著シク昇ルヲ云フ

温度降ル 氣温ノ前日ヨリ著シク降ルヲ云フ

第七條 風向晴雨ノ豫報用語ハ之ニ附加語ヲ添ヘ又ハ之ヲ重用スルコトアルヘシ

第八條 全國天氣豫報ハ全國ヲ十氣象區ニ分テ之ヲ發スルモノトス

第二章 地方天氣豫報

第九條 地方天氣豫報トハ全國天氣豫報及ヒ其他ノ氣象觀測ニ基キ其地方ニ於ケル翌日ノ天氣ヲ預告スルモノヲ云フ

豫報ノ一日ハ午後六時ニ始マルモノトス

第十條 地方天氣豫報ハ毎日午前十一時前ニ發シ必要ノ場合ニハ午後六時前更ニ追報ヲ發スルモノトス

第十一條 地方天氣豫報ハ風向、晴雨及ヒ氣温ニ就テ之ヲ發スルモノトス但シ風向ハ和風以上ノトキ氣温ハ昇降著シキトキニ限り之ヲ發スルモノトス

第十二條 地方天氣豫報ノ用語ハ總テ全國天氣豫報ノ例ニ據ルモノトス

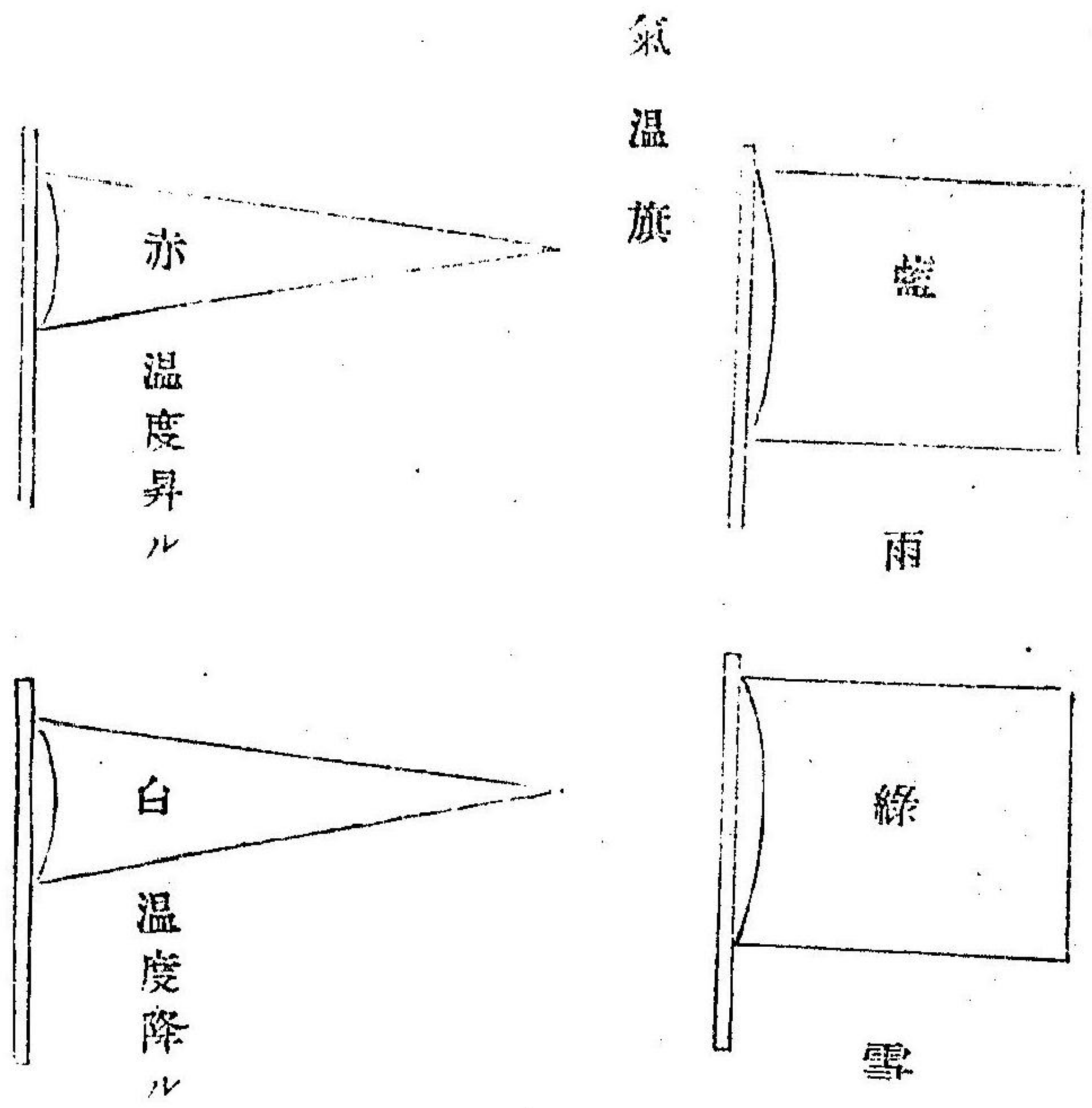
第十三條 疾風以上ノ風又ハ霜若シクハ出水等ノ虞アリト認メタルトキハ臨時之ヲ豫報スルモノトス

第三章 天氣豫報信號標

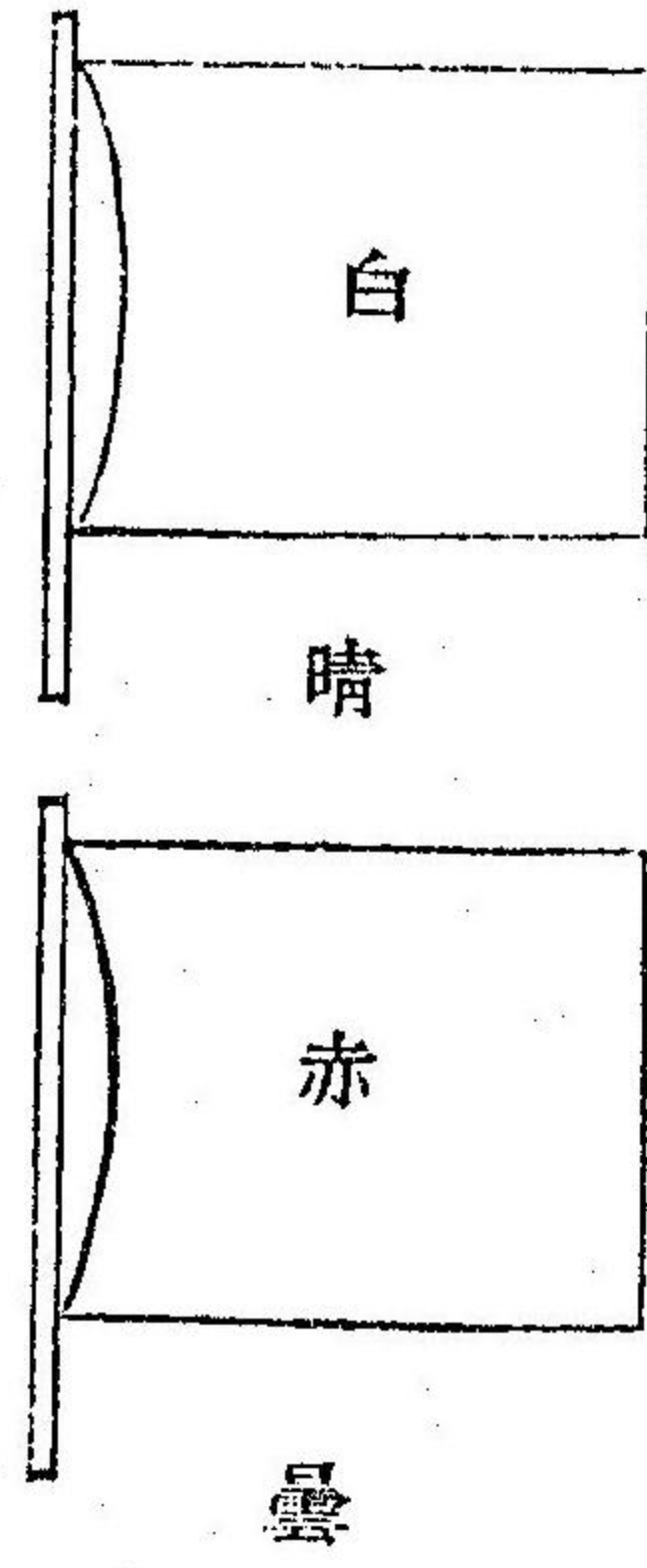
第十四條 天氣豫報信號標ヲ分テ左ノ三種トス

- 一 風向ハ三角旗ヲ以テ之ヲ示ス
- 一 晴雨ハ方旗ヲ以テ之ヲ示ス
- 一 氣温ノ昇降ハ長旒ヲ以テ之ヲ示ス

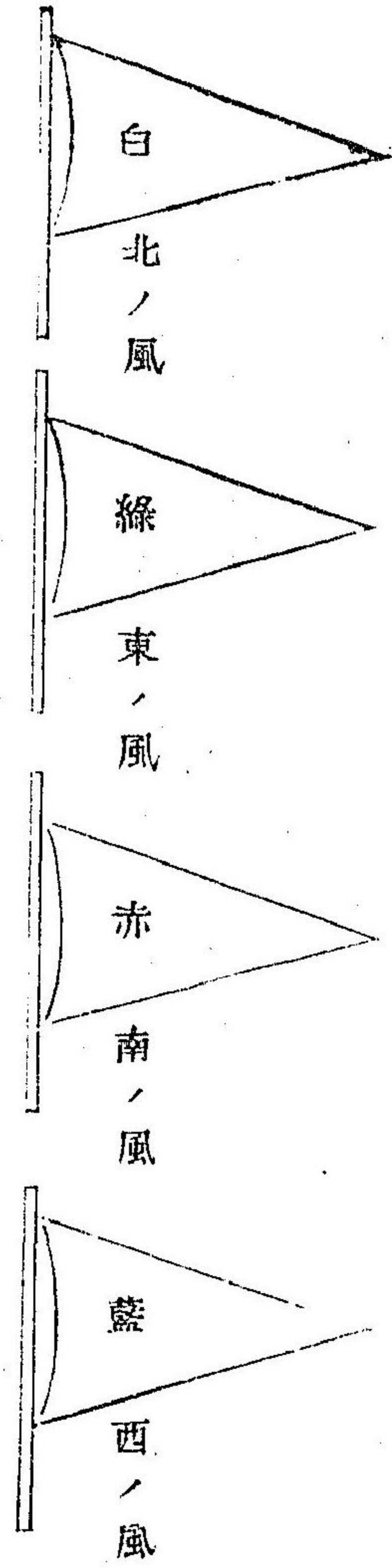
第十五條 第十三條ノ臨時豫報ハ左ノ信號標ヲ以テ之ヲ示スモノトス

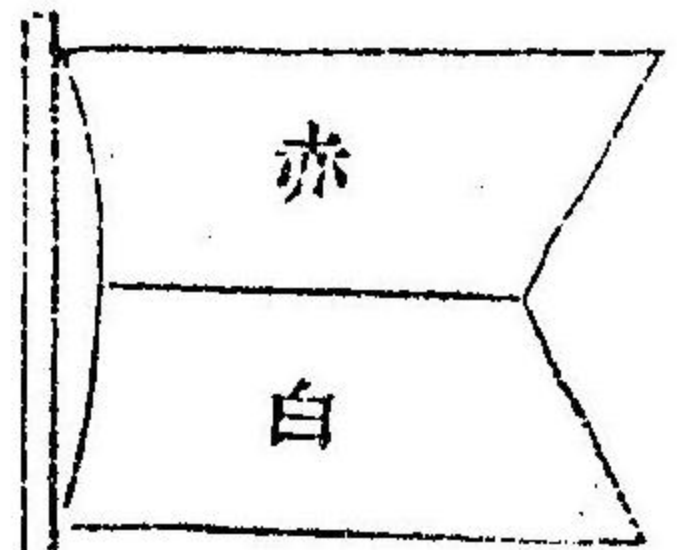


晴雨旗

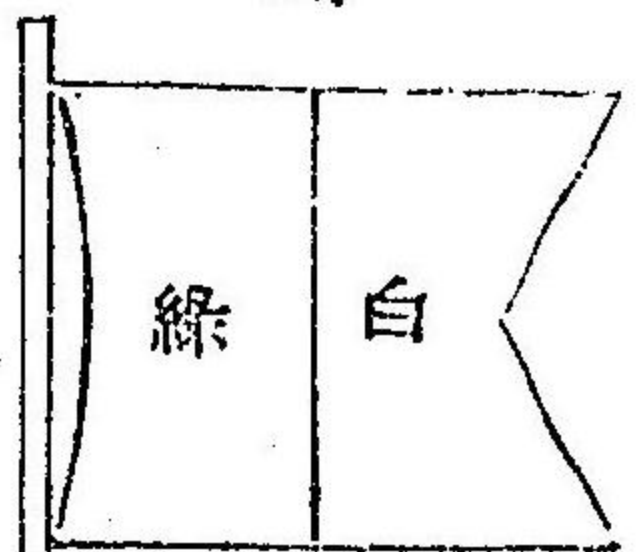


風向旗

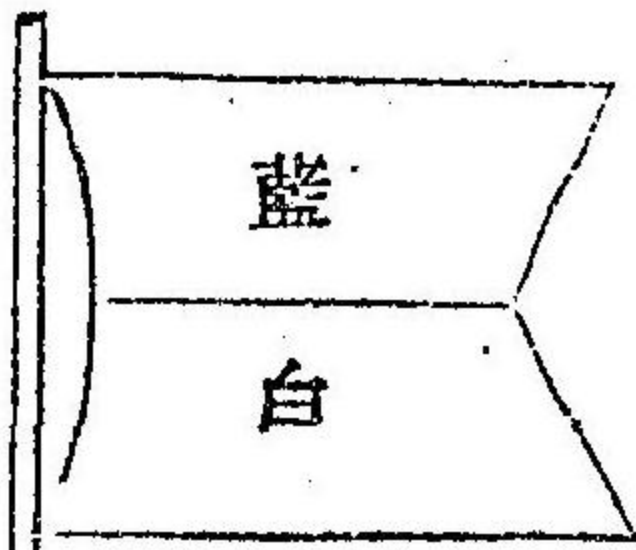




疾風以上ノ風



霜



出水

第十六條 豫報用語ヲ重用スル時ハ其順序ニ依リ信號標ヲ連掲スルモノトス

第十七條 天氣豫報信號標ハ毎日日没マテ之ヲ掲揚スルモノトス但シ臨時豫報信號標ハ此限ニアラス

第四章 暴風警報

第十八條 暴風警報トハ本邦附近ニ風雨ノ虞アルヲ豫告スルモノヲ云フ

第十九條 暴風警報ハ左ノ三種ニ分ア之ヲ發スルモノトス

- 沿海 警戒 海上風雨ノ虞アルトキ主トシテ漁業者ヲ警戒スルモノトス
- 海陸 警戒 風雨ノ稍烈シキ虞アルトキ海陸ヲ警戒スルモノトス

暴風 警戒 暴風雨ノ虞アルトキ海陸ヲ警戒スルモノトス

第二十條 前條ノ警戒ハ天候平穩ニ復セントスルトキ解警報ヲ發シテ之ヲ解除スルモノトス
 ○中央氣象臺ニ於テ始テ暴風警報ノ信號規則ヲ制定シタルハ明治十六年ニシテ其十一月東京品川ニ建設シタルモノヲ以テ信號ノ嚆矢トス爾來信號ノ増加ハ明治二十五年頃マテ甚タ遅々ナリシカ其後ニ至リ長足ノ進歩ヲ呈シ明治三十六年一月一日現在數三百六十二箇所ヲ算スルニ至レリ今氣象區ニ分チテ其所在地ヲ示セハ左ノ如シ

番 號	信號標ノ種類	所 在 地	緯 度	經 度
一	● ▲ ●	恒春廳鷺鑾鼻	二一・五四	一一〇・五一
二	● ▲ ●	臺南縣打狗	二二・三三	一一〇・二〇
三	● ▲ ●	臺南縣安平	二二・五八	一一〇・一五
四	● ▲ ●	臺南縣布袋嘴街	二三・〇四	一一〇・一五
五	● ▲ ●	臺南縣大坵田西堡下東石庄	二三・一〇	一一〇・一六
六	● ▲ ●	臺南縣東港下中街	二三・二三	一一〇・一三

四〇	三九	三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	●	●	▲	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	●	▲	▲	●	▲
●	●		●			●								●	●		●
日向國福島村	大隅國東志布志村	日向國油津町	薩摩國鹿兒島市	日向國宮崎町	日向國宮崎町(宮崎測候所)	肥後國牛深町	肥後國水俣村	肥後國佐敷村	日向國美々津町	肥後國日奈久町	肥後國本渡町	日向國伊形村	肥後國八代町	肥後國富岡町	日向國細島町	日向國東海村	
三二・二七	三二・二九	三二・三四	三二・三五	三二・四七	三二・五六	三二・五六	三二・一一	三二・一一	三二・二〇	三二・二五	三二・二八	三二・二九	三二・三〇	三二・三一	三二・三四	三二・三六	
一三一・一一	一三一・〇五	一三一・二四	一三〇・三三	一三〇・〇九	一三一・二六	一三一・二六	一三〇・〇〇	一三〇・〇〇	一三一・三六	一三〇・三四	一三〇・一一	一三一・四二	一三〇・三六	一三〇・〇二	一三一・三七	一二八・四二	

二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	▲	▲	●		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●				●	●			●	●	●	●	●	●	●
薩摩國東南方村	薩摩國山川村	大隅國佐多岬(望樓)	大隅國伊津部村(大島測候所)	大隅國大島皆通崎	琉球國那霸區	臺北縣基隆堡社寮島城仔角	臺北縣滬尾	臺北縣基隆	宜蘭廳頭圍頭圍街	宜蘭廳蘇澳北方澳	臺中縣後壠港	臺中縣新港庄下湖口港	臺中縣塗葛堀港	臺中縣鹿港	澎湖島媽宮城
三一・一七	三一・一三	三一・〇〇	二八・二三	二八・〇六	二六・一三	二五・一〇	二五・〇九	二五・〇七	二四・五一	二四・三六	二四・三六	二四・三五	二四・一四	二四・〇五	二三・三三
一三〇・一六	一三〇・三六	一三〇・三八	一二九・三〇	一二九・二三	一二七・四一	一二一・四七	一二一・二七	一二一・四四	一二一・四八	一二一・五一	一一〇・四八	一一〇・五〇	一一〇・三〇	一一〇・〇七	一一九・三〇

四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
肥後國三角町	肥後國松橋町	肥後國松尾村	土佐國三崎村	肥後國熊本市(熊本測候所)	肥後國長洲町	土佐國宿毛村	土佐國下田村	土佐國室戸村	土佐國久禮町	土佐國須崎町	紀伊國潮岬(望樓)	土佐國安藝町	紀伊國串本村	土佐國高知市(高知測候所)	土佐國高知市(高知公園)	土佐國高知市(水上警察署)	土佐國赤岡村
三三・三八	三二・三八	三二・四七	三二・四八	三二・四九	三二・五五	三二・五六	三二・五七	三三・一五	三三・二一	三三・二四	三三・二七	三三・三一	三三・三一	三三・三三	三三・三三	三三・三三	三三・三三
一三〇・二六	一三〇・四〇	一三〇・三九	一三二・五三	一三〇・四二	一三〇・二七	一三二・四四	一三二・五九	一三四・一〇	一三三・一四	一三三・一五	一三五・四六	一三三・五六	一三五・四六	一三三・三四	一三三・三四	一三三・三四	一三三・四六

五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
土佐國甲ノ浦村	阿波國鞆奥村	紀伊國太地村	阿波國淺川村	紀伊國勝浦村	紀伊國三輪崎村	紀伊國新宮町	阿波國日和佐村	紀伊國田邊町	阿波國鷺敷村	阿波國椿村	紀伊國日ノ岬(望樓)	紀伊國木ノ本町	紀伊國御坊村	阿波國富岡村	紀伊國由良村	紀伊國湯淺村	紀伊國尾鷲町
三三・三四	三三・三六	三三・三六	三三・三八	三三・三八	三三・四二	三三・四三	三三・四四	三三・四四	三三・五一	三三・五一	三三・五二	三三・五二	三三・五三	三三・五三	三三・五七	三四・〇二	三四・〇四
一三四・一九	一三四・一三	一三五・五八	一三四・二三	一三五・五七	一三五・五九	一三五・五九	一三四・三三	一三五・二一	一三四・三二	一三四・四三	一三五・〇五	一三六・〇〇	一三五・〇八	一三四・四〇	一三五・〇二	一三五・〇八	一三六・一〇

九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
伊豫國八幡濱町	豐後國奈狩江村	豐後國柞築町	豐後國別府町	豐後國佐賀關町	伊豫國宇和島町	豐後國大分町	豐後國佐伯町	豐後國鶴見崎(望樓)	紀伊國和歌山市(和歌山測候所)	阿波國撫養町	紀伊國鹽津村	紀伊國大崎村	阿波國德島市	阿波國小松島村	阿波國脇町
三三・二七	三三・二六	三三・二五	三三・二四	三三・一六	三三・一四	三三・一三	三三・一三	三二・五五	三四・一四	三四・〇八	三四・〇七	三四・〇六	三四・〇五	三四・〇五	
一三二・二六	一三一・三八	一三一・三七	一三一・三〇	一三一・二五	一三一・一五	一三一・一四	一三一・一三	一三一・〇五	一三五・〇九	一三五・〇八	一三五・〇八	一三四・三七	一三四・三六	一三四・三一	

第

三

區

九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	〇〇	〇一	〇二	〇三	〇四	〇五	〇六	〇七	〇八	〇九	一〇
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
伊豫國長濱町	周防國上關村	伊豫國和氣村	伊豫國道後村(松山測候所)	周防國久賀村	周防國柳井村	伊豫國新居濱村	伊豫國多喜濱村	周防國三田尻村	周防國德山村	伊豫國今治町	讚岐國觀音寺町	安藝國吳町(鎮守府)	安藝國東野村	讚岐國詫間村	讚岐國多度津町	安藝國嚴島町	讚岐國丸龜町
三三・三七	三三・五〇	三三・五一	三三・五一	三三・五七	三三・五八	三三・五八	三三・五九	三四・〇三	三四・〇四	三四・〇四	三四・〇八	三四・一五	三四・一五	三四・一七	三四・一八	三四・一八	
一三二・二九	一三二・〇六	一三二・四一	一三二・四七	一三二・一五	一三二・〇七	一三三・一四	一三三・二一	一三一・三四	一三一・四八	一三三・〇二	一三三・四〇	一三二・三一	一三二・五六	一三三・四〇	一三三・四六	一三二・一八	一三三・四八

一一一	一一二	一一三	一一四	一一五	一一六	一一七	一一八	一一九	一二〇	一二一	一二二	一二三	一二四	一二五	一二六	一二七	一二八
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
讚岐國津田町	讚岐國宇多津町	讚岐國阪出町	和泉國多奈川村	大和國五條町	安藝國忠海町	讚岐國高松市	讚岐國中寄居村	安藝國廣島市	備後國鞆町	大和國上市町	備後國尾道町	和泉國佐野村	備後國松永町	備前國下津井町	備前國日比村	和泉國岸和田町	備後國味野村
三四・二八	三四・一九	三四・一九	三四・一九	三四・二〇	三四・二一	三四・二一	三四・二二	三四・二三	三四・二三	三四・二四	三四・二四	三四・二五	三四・二五	三四・二七	三四・二七	三四・二七	三四・二九
一三四・一九	一三三・四七	一三三・五二	一三五・〇九	一三五・四二	一三二・五九	一三四・〇一	一三三・五八	一三二・二七	一三三・二四	一三五・五二	一三三・四八	一三三・五五	一三五・二一	一三五・二一	一三五・二一	一三三・四八	一三三・四八

一二九	一三〇	一三一	一三二	一三三	一三四	一三五	一三六	一三七	一三八	一三九	一四〇	一四一	一四二	一四三	一四四	一四五	一四六
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
讚岐國安田村	大和國神戸村	備中國笠岡町	大和國高田町	大和國八木町(八木測候所)	備中國柏崎村	和泉國尾崎村	和泉國堺市	備前國三幡村	大和國丹波市町	備前國牛窓町	備前國岡山市(岡山測候所)	備前國岡山市	攝津國神戸市(神戸測候所)	大和國奈良町	攝津國神戸市	攝津國大阪市西區西島町	攝津國大阪市北區安治川通
三四・二九	三四・二九	三四・三一	三四・三一	三四・三一	三四・三一	三四・三二	三四・三二	三四・三五	三四・三六	三四・三六	三四・三七	三四・四〇	三四・四〇	三四・四一	三四・四二	三四・四二	三四・四二
一三四・一九	一三五・五八	一三三・三一	一三五・四五	一三五・四九	一三三・三九	一三五・一六	一三五・二七	一三五・五六	一三五・五〇	一三四・〇九	一三三・五四	一三三・五四	一三五・一一	一三五・五一	一三五・一一	一三五・三一	一三五・三一

一四七	攝津國天保町	三四・四二	一三五・三一
一四八	攝津國大阪市西區南堀江	三四・四二	一三五・三一
一四九	攝津國大阪市(大阪測候所)	三四・四三	一三五・三一
一五〇	攝津國東郷村	三四・五七	一三五・二四
一五一	山城國京都市(京都測候所)	三五・〇一	一三五・四六
一五二	肥前國野母崎(望樓)	三二・三四	一二九・四四
一五三	肥前國口ノ津村	三二・三六	一三〇・二二
一五四	肥前國大瀬崎(望樓)	三二・三七	一二八・三七
一五五	肥前國福江村	三二・四二	一二八・五二
一五六	肥前國長崎市	三二・四四	一二九・五二
一五七	肥前國湊町	三二・四六	一三〇・二三
一五八	肥前國島原町	三二・四六	一三〇・二三
一五九	肥前國諫早町	三二・五〇	一三〇・〇四
一六〇	筑後國大牟田町	三三・〇二	一三〇・二四
一六一	筑後國沖端村	三三・〇八	一三〇・二四
一六二	肥前國佐世保村(鎮守府)	三三・一〇	一二九・四四

第 四 區

一六三	肥前國志自岐崎(望樓)	三三・一一	一二九・二三
一六四	肥前國佐賀市	三三・一二	一三〇・一八
一六五	筑後國若津町	三三・一二	一三〇・二三
一六六	肥前國東川副村	三三・一三	一三〇・二二
一六七	肥前國西山代村	三三・一七	一二九・五〇
一六八	肥前國平戸村	三三・二四	一二九・三四
一六九	肥前國唐津町	三三・二七	一二九・五六
一七〇	豐前國長洲町	三三・三四	一三一・二一
一七一	豐前國中津町	三三・三六	一三一・一〇
一七二	筑前國福岡市	三三・三七	一三〇・二一
一七三	豐前國宇ノ島町	三三・三八	一三一・〇九
一七四	壹岐國壹岐崎(望樓)	三三・四二	一二九・四四
一七五	壹岐國武生水村	三三・四五	一二九・四三
一七六	壹岐國香椎村	三三・五一	一二九・四〇
一七七	豐前國小倉町	三三・五三	一三〇・五三
一七八	筑前國若松町	三三・五四	一三〇・四五
一七九	豐前國門司町	三三・五八	一三〇・五〇
一八〇	長門國下關市	三三・五八	一三〇・五六

一八八	一八七	一八六	一八五	一八四	一八三	一八二	一八一
●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●
長門國下關市	對島國神崎(望樓)	對島國嚴原(嚴原測候所)	長門國神田下村	長門國角島(望樓)	長門國仙崎村	長門國榛鄉分村	長門國須佐村
三三・五八	三四・〇五	三四・一二	三四・二〇	三四・二二	三四・二四	三四・二五	三四・三八
一三〇・五七	一二九・一二	一二九・一六	一三〇・五四	一三〇・五二	一三一・一三	一三一・二五	一三一・三七
朝鮮國釜山港	石見國濱田町(濱田測候所)	對島國韓崎(望樓)	丹後國舞鶴町(鎮守府)	出雲國松江市	伯耆國赤崎村	因幡國青谷村	丹後國宮津町
三五・二六	三四・五三	三四・四三	三五・一五	三五・二八	三五・三〇	三五・三一	三五・三二
一三二・〇〇	一三二・〇五	一三二・二七	一三五・一八	一三三・〇三	一三三・四〇	一三四・〇〇	一三五・一四
伯耆國境町	但馬國淡村	丹後國伊根村	丹後國問入村	伯耆國小鈴谷村	尾張國小鈴谷村	三河國御油町	三河國一色町
三五・三九	三五・三三	三五・三二	三五・四〇	三四・四九	三四・四八	三四・四六	三四・四四
一三四・四九	一三三・一四	一三五・一四	一三五・〇七	一三六・五二	一三七・〇二	一三七・二五	一三七・〇二

一九九	二〇〇	二〇一	二〇二	二〇三	二〇四	二〇五	二〇六	二〇七	二〇八	二〇九	二一〇	二一一	二一二	二一三	二一四
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
丹後國伊根村	丹後國問入村	志摩國濱島村	志摩國烏羽町	伊豆國長津呂(望樓)	三河國福江町	遠江國掛塚町	三河國田原町	伊豆國下田町	伊勢國津市	遠江國濱松町	伊豆國松崎町	三河國豐橋町	三河國一色町	尾張國小鈴谷村	三河國御油町
三五・四〇	三五・四四	三四・一七	三四・二八	三四・三六	三四・三八	三四・三九	三四・四〇	三四・四〇	三四・四三	三四・四三	三四・四五	三四・四六	三四・四八	三四・四九	三四・五一
一三五・一八	一三五・〇七	一三六・四六	一三六・四七	一三八・五一	一三七・〇六	一三七・四八	一三七・一六	一三八・五五	一三六・三一	一三七・四三	一三八・四八	一三七・二五	一三七・〇二	一三六・五二	一三七・一九

第五區

二二五	二二六	二二七	二二八	二二九	二三〇	二三一	二三二	二三三	二三四	二三五	二三六	二三七	二三八	二三九	二四〇	二四一	二四二	二四三	二四四	二四五	二四六	二四七	二四八	二四九	二五〇	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
尾張國西尾町	尾張國半田町	三河國大濱町	三河國新城町	安房國布良(望樓)	尾張國大野町	伊勢國四日市	三河國岡崎町	駿河國靜岡市	伊豆國戸田村	伊豆國伊東村	駿河國清水町	安房國北條町	伊勢國桑名町	駿河國楊原村	尾張國彌富村	尾張國熱田町	伊豆國三島町									
三四・五二	三四・五三	三四・五三	三四・五四	三四・五五	三四・五六	三四・五八	三四・五八	三四・五八	三四・五八	三四・五八	三四・五八	三五・〇一	三五・〇一	三五・〇四	三五・〇四	三五・〇六	三五・〇七	三五・〇七								
一三七・〇四	一三六・五六	一三六・五九	一三七・三一	一三九・五〇	一三六・五〇	一三六・三八	一三七・一一	一三八・二二	一三八・四六	一三九・〇六	一三八・二九	一三九・五一	一三六・四〇	一三八・五二	一三六・四四	一三六・五五	一三六・五五	一三六・五五								

二二三	二三四	二三五	二三六	二三七	二三八	二三九	二四〇	二四一	二四二	二四三	二四四	二四五	二四六	二四七	二四八	二四九	二五〇
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
安房國鴨川町	尾張國蟹江町	上總國勝浦町	尾張國津島町	尾張國名古屋市	尾張國西枇杷島町	相模國横須賀町(鎮守府)	尾張國布袋野町	美濃國泉村	美濃國大垣町	上總國木更津町	美濃國岐阜市	武藏國横濱市(神奈川縣測候所)	上總國片貝村	武藏國大井村	下總國千葉町	武藏國品川町	武藏國東京市京橋區築地明石町
三五・〇七	三五・〇八	三五・〇九	三五・一〇	三五・一〇	三五・一一	三五・一一	三五・一九	三五・二一	三五・二二	三五・二三	三五・二七	三五・二七	三五・三二	三五・三六	三五・三六	三五・三九	三五・四〇
一四〇・〇六	一三六・四九	一四〇・一九	一三六・四四	一三六・五四	一三六・五三	一三九・四〇	一三六・五二	一三七・二二	一三六・三八	一三九・五六	一三六・四六	一三九・三九	一四〇・二三	一三九・四五	一四〇・〇八	一三九・四四	一三九・四七

二五五	二五四	二五三	二五二	二五一	二五六	二五七	二五八	二五九	二六〇	二六一	二六二	二六三	二六四	二六五	二六六	二六七
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
武藏國東京市京橋區船松町	武藏國東京市深川區	下總國本銚子町	武藏國浦和町	武藏國熊谷町(熊谷測候所)	信濃國上飯田村	甲斐國甲府市(甲府測候所)	飛騨國高山町	信濃國松本町	下野國佐野町	下野國足利町	下野國栃木町	上野國前橋市	下野國真岡町	下野國鹿沼町	下野國宇都宮市	
三五・四〇	三五・四〇	三五・四四	三五・五一	三六・〇九	三五・三一	三五・四〇	三六・〇九	三六・一四	三六・一八	三六・二〇	三六・二二	三六・二四	三六・二七	三六・三四	三六・三四	三六・三四
一三九・四七	一三九・四九	一四〇・五〇	一三九・三九	一三九・二三	一三七・五一	一三八・三五	一三七・一六	一三六・五九	一三九・三六	一三九・二七	一三九・四五	一三九・〇四	一四〇・〇一	一三九・四五	一三九・五三	

二七〇	二六九	二六八	二六七	二七二	二七三	二七四	二七五	二七六	二七七	二七八	二七九	二八〇	二八一	二八二	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
信濃國長野市	下野國足尾町	下野國矢板町	下野國大田原町	若來國高濱村	若狹國小濱町	若狹國熊川村	若狹國三方村	若狹國北西郷村	越前國敦賀町	越前國今庄村	越前國武生町	越前國粟田部村	越前國鯖江町	越前國四ヶ浦村	越前國織田村
三六・三九	三六・三九	三六・四八	三六・五二	三五・三〇	三五・三〇	三五・三〇	三五・三四	三五・三七	三五・三八	三五・四六	三五・五四	三五・五四	三五・五六	三五・五七	三五・五七
一三八・一三	一三九・二九	一三九・五四	一四〇・〇一	一三五・三三	一三五・四四	一三五・五四	一三五・五五	一三五・五四	一三六・〇三	一三六・一一	一三六・一一	一三六・一一	一三六・一一	一三六・一一	一三六・〇五

二八三	二八四	二八五	二八六	二八七	二八八	二八九	二九〇	二九一	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八	二九九	三〇〇
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
越前國西田中村	越前國東郷村	越前國福井市(福井測候所)	越前國福井市	越前國勝山町	越前國松岡町	越前國丸岡町	越前國三國町	加賀國安宅町	加賀國下金石町	加賀國美川町	加賀國金澤市	加賀國上金石町	越中國東岩瀬町	越中國滑川町	越中國伏木町	越中國魚津町	越中國氷見町
三五・五八	三五・五九	三六・〇三	三六・〇三	三六・〇四	三六・〇五	三六・〇八	三六・一二	三六・二五	三六・二五	三六・三〇	三六・三三	三六・三五	三六・四五	三六・四五	三六・四七	三六・四九	三六・五一
一三六・〇九	一三六・一八	一三六・一六	一三六・一六	一三六・三二	一三六・二〇	一三六・一八	一三六・一二	一三六・二五	一三六・二五	一三六・二九	一三六・四〇	一三六・三八	一三七・一四	一三七・二一	一三七・〇三	一三七・二四	一三七・〇一

三〇一	三〇二	三〇三	三〇四	三〇五	三〇六	三〇七	三〇八	三〇九	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能登國七尾町	能登國宇出津町	能登國小木村	能登國輪島町	能登國蛸島村	越後國新潟市	越後國相川町	佐渡國湊町	羽前國念珠關村	羽前國温海村	羽前國加茂町	羽後國酒田町	羽後國象潟町	羽後國本莊町	羽後國秋田市	羽後國土崎湊町	羽後國船川湊町	羽後國能代港町
三七・〇二	三七・一八	三七・一八	三七・二三	三七・二六	三七・五五	三八・〇二	三八・〇五	三八・三三	三八・三六	三八・四四	三八・四四	三九・一二	三九・二三	三九・四二	三九・四四	三九・五三	四〇・一四
一三六・五八	一三七・〇九	一三七・一二	一三六・五三	一三七・一八	一三九・〇三	一三八・一四	一三八・二六	一三九・三三	一三九・三五	一三九・四一	一三九・四六	一三九・五四	一四〇・〇二	一四〇・〇七	一四〇・〇二	一三九・五一	一三九・五九

三一九	●	羽後國八森村	四〇・二一	一四〇・〇二
三二〇	●	常陸國鉾田町	三六・一〇	一四〇・三一
三二一	●	常陸國磯濱町	三六・一九	一四〇・三六
三二二	●	常陸國湊町	三六・二〇	一四〇・三六
三二三	●	常陸國平磯町	三六・二一	一四〇・三七
三二四	●	常陸國水戸市(水戸測候所)	三六・二三	一四〇・二八
三二五	●	常陸國久慈町	三六・三〇	一四〇・三八
三二六	●	常陸國豊浦町	三六・三八	一四〇・四二
三二七	●	常陸國松原町	三六・四二	一四〇・四三
三二八	●	常陸國大津町	三六・五〇	一四〇・四八
三二九	●	常陸國平潟町	三六・五一	一四〇・四八
三三〇	●	磐城國江名村	三六・五八	一四〇・五八
三三一	●	磐城國松ヶ江村	三七・五〇	一四〇・五七
三三二	●	陸前國鹽釜町	三八・二〇	一四一・〇一
三三三	●	陸前國石巻町	三八・二六	一四一・一九
三三四	●	陸前國氣仙沼町	三八・五四	一四一・三六

三三五	●	陸中國釜石町	三九・一六	一四一・五四
三三六	●	陸中國大槌町	三九・二一	一四一・五五
三三七	●	陸中國山田町	三九・二九	一四一・五八
三三八	●	陸中國宮古町(宮古測候所)	三九・三八	一四一・五九

三三九	●	陸奥國青森町	四〇・五一	一四〇・四五
三四〇	●	陸奥國三厩村	四一・一五	一四〇・二二
三四一	●	渡島國福山端立町	四一・二七	一四〇・〇五
三四二	●	渡島國函館區(函館測候所)	四一・四六	一四〇・四四
三四三	●	渡島國函館區	四一・四六	一四〇・四四
三四四	●	渡島國江差港	四一・五二	一四〇・〇七
三四五	●	渡島國白尻村	四一・五六	一四〇・五七
三四六	●	渡島國森村	四二・〇七	一四〇・三四
三四七	●	日高國浦河村	四二・〇九	一四二・四六
三四八	●	膽振國室蘭村	四二・二一	一四〇・五六
三四九	●	後志國壽都	四二・四八	一四〇・一三
三五〇	●	後志國岩内	四二・五九	一四〇・二九

第十區	
三五二 三五三	石狩國札幌區 後志國小樽 天鹽國碓寒澤村
四三〇四 四三〇一 四三・五〇	
一四二・三三 一四一・〇〇 一四一・二九	
三五四 三五五 三五六 三五七 三五八 三五九 三六〇 三六一 三六二	十勝國大津村 釧路國釧路 釧路國灣月町 釧路國霧多布村 根室國花咲町(根室測候所) 北見國網走村 北見國枝幸村 北見國鷺泊村 北見國稚內村
四二・四〇 四二・五九 四三・〇二 四三・〇四 四三・〇二 四三・〇二 四四・〇二 四四・五八 四五・一五 四五・二四	
一四三・三八 一四四・二三 一四四・五一 一四五・〇八 一四五・三五 一四一・二四 一四二・三五 一四一・一四 一四一・四〇	

○氣象觀測練習會規則

- 第一條 本會ハ中央氣象臺ニ置キ氣象觀測ニ從事スルモノ、職務上必要ナル學科及ヒ實科ヲ練習スル所トス
- 第二條 本會ノ開期、人員ハ中央氣象臺長毎回之ヲ定ム但シ開會ノ期限ハ六箇月ヲ超エサルモノトス
- 第三條 本會ニ於テ練習スヘキ學科ハ氣象學、地震學、物理學、數學ニシテ實科ハ觀測法、器械用法、作圖法等トス
- 第四條 練習時間ハ休日ヲ除クノ外毎日四時間乃至八時間トス
- 第五條 練習志望ノ者ハ第八條ノ書式ニ依リ中央氣象臺長ニ願出テ許可ヲ請フヘシ
- 第六條 練習員ノ用品ハ總テ自辨トス
- 第七條 本會規定ノ學科及ヒ實科ヲ修了シタルモノニハ中央氣象臺長ヨリ練習證明書ヲ附與ス

第八條 練習願書式ハ差ノ如シ

氣象觀測練習願

何測候所若クハ職名

何

某

生年月日

右ハ氣象觀測練習會ニ於テ練習志望ニ付御許可被成下度履歷書相添此段相願候也

年月日

右

何

某

印

中央氣象臺長宛

前書何某ハ本所何々(職名)ニシテ氣象觀測練習志望者ニ有之候此段證明候也

右測候所長若クハ何々長

某

印

履歷書

本族籍

職名何

某

印

生年月日

年	月	學業官職賞罰等	當該官銜
何年	何月何日	何々	何々
何年	何月何日	何々	何々

三 職員 (明治三十六年一月一日現在)

臺長

從五位勳五等

五級俸等

中村

精男

技師

從五位勳五等

五級俸等

中村

精男

豫報課長 從五位勳五等

六級俸等

和田

雄治

觀測課長 從六位勳六等

九級俸等

正戶

豹之助

統計課長 正七位

十級俸等

大石

和三郎

技手

二級俸	岡田武松
四級俸	井口龍太郎
五級俸	六笠弘躬
六級俸	堀野元三
六級俸	江原貞吉
六級俸	池上稻吉
六級俸	野田為太郎
七級俸	矢崎習吉
七級俸	佐木虎士
八級俸	葛原次郎
九級俸	金田雄次
九級俸	金子鐵之助

書記

雇

九級俸	小川徳太郎
四級俸	石井政恒
七級俸	坪川辰雄
八級俸	坪内鐵太郎
十級俸	小柴直美
小松忠治	野村角次
金田彌作	山本武彦
在田為憲	塚原達一

大島測候所

成島	義武	伊能	倉次郎	宮村	喜一郎	鈴木	賢次郎	海野	太郎	橋詰	雷太	齋藤	素治	石田	三之	土屋	宣義	八太	益次郎	大槻	修	九里	啓左彌門
----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	---	----	------

所長心得技手
雇

十級俸 野田 初藏

碓 稻 滿

都 成 幸 一 郎

南 三 次

石垣島測候所

九級俸 岩崎 卓爾

所長 技手
雇

松 永 高 純

南 風 原 英 當

識 名 信 次

○四

氣象觀測囑託員

(明治三十一年一月一日現在)

韓國氣象觀測囑託

釜山郵便電信局書記 鳥居 鈔 作

全 天津彦五郎

全 黑野德太郎

豫備海軍大尉 郡 司 成 忠

千島地方氣象取調囑託
八丈島氣象觀測囑託

八丈島々廳書記 河合源太郎

小笠原島氣象觀測囑託

小笠原島司 勳六等 阿利孝太郎

小笠原島廳技手 川 手 文

小笠原島廳雇 太 田 靖

小笠原島廳農事試驗場囑託 川 上 淺 藏

警報信號標取扱囑託

日本海員救濟會品小川事務所長 齊藤鏡一郎

○四 圖書

本臺ノ定時刊行物ハ左ノ五種トス

一 天氣圖 (毎日刊行)

毎日午前六時午後二時午後十時ニ於ケル各地ノ氣象大要ヲ蒐集シタルモノニシテ天氣豫報暴風警報等ヲ掲載シ公衆ヲシテ速ニ當日ノ天候ヲ知ラシムルニ供ス

二 中央氣象臺月報 (毎月刊行)

毎月各地ニ於ケル氣象觀測ノ成績全部ヲ掲載シ精細ナル調査ノ材料ト爲ス

三 氣象要覽 (毎月刊行)

毎月各地ニ於ケル氣象ノ大要ト著明ノ現象トヲ掲ケ公衆ヲシテ速ニ其狀況ヲ知ラシムルニ供ス

四 中央氣象臺年報 (毎年刊行)

本報第壹編ニハ壹週年間各地ニ於テ觀測シタル氣象ノ月別統計ヲ示シ第二編ニハ氣候、

雨量、暴風、地震、空中電氣、地磁氣等ニ關シタル調査ノ成績及ヒ臨時ノ研究ニ係ル事項
 ヲ掲載ス第二編中雨量地震ニ關スルモノハ別冊ト爲シテ報告者ニ配付スルモノトス
 以上ノ報文ハ内外國樞要ノ場所ニ配布スト雖モ其種類ニ依リ各別アリ今マ刊行部數ト配布箇
 所トヲ略記スレハ左ノ如シ

圖書名	員數	配付先
天氣圖	百七十枚	必要ノ官廳各測候所及海外各氣象臺へ配付ス
中央氣象臺月報	百八十一冊	同上
氣象要覽	二千五百六十二冊	必要ノ官廳、各測候所、郡役所、學校及新聞社、學會等へ配付ス
中央氣象臺年報	一編二百五十冊 二編二百冊	必要ノ官廳、各測候所及海外各氣象臺へ配付ス
全國地震報告	千四百五十冊	必要ノ官廳、各測候所及各郡役所町村役場等ノ觀測者へ配付ス
全國雨量報告	千四百五十冊	同上
暴風警報信號所在地一覽	八百枚	必要ノ官廳、各測候所、信號管理所及汽船會社等へ配付ス

本臺ニ於テハ職員研究ノ材料ニ資センカ爲メ普ク内外國關係諸部ト報文交換ヲ爲シ又新著書
 及ヒ學術雜誌ヲ購入シ現ニ圖書室ニ藏スル所ヲ記スレハ大要左ノ如シ

內國學術雜誌	六種
外國學術雜誌	十四種
內國出版圖書	千四百九十八冊
歐羅巴出版圖書	二千九百三冊
北米出版圖書	八百十五冊
南米出版圖書	百十一冊
亞細亞出版圖書	四百十四冊
亞弗利加出版圖書	百二十一冊
濠州出版圖書	百九十七冊

○五器械

委託電報料	旅費		委託電報料	雜費	被服費	備人料	雇員給	官吏療治料	給與	外國旅費		委託電報料
	內國旅費	外國旅費								內國旅費	外國旅費	
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇
二、五二四、四七〇	一、八七八、三五〇	一、三八六、九五〇	三、二五一、〇六〇	七六三、九一〇	八一、〇〇〇	一、七四四、四六五	二、七四一、七一八	〇	一、二〇四、五六〇	六、五三五、六五三	四九一、四〇〇	二、五二四、四七〇

〇七 地方測候所沿革

明治五年開拓使ニ於テ函館ニ測候所ヲ置キ七月一日ヨリ三回觀測ヲ開始シタリ之ヲ本邦測候所ノ嚆矢トス
 〇明治八年六月一日内務省地理寮ニ於テ東京氣象臺ヲ開始シ中央氣象臺ノ基礎

ヲ造リ〇明治九年九月開拓使ニ於テ札幌測候所ヲ開始ス
 〇明治十一年内務省地理局ニ於テ暴風警報事業創設準備ノ爲メ地方測候所建設ノ計畫ヲ定メ先ツ長崎ニ測候所ヲ置キ同年七月一日ヨリ之ヲ開始シタリ
 〇同年九月開拓使ニ留萌測候所ヲ置キ〇明治十二年一月廣島縣ニ於テ地理局ノ補助ヲ受クテ廣島測候所ヲ新設開始シ同年七月開拓使ニ於テ根室測候所ヲ和歌山縣ニ於テ和歌山測候所ヲ開設シ
 〇明治十三年十月京都府ニ於テ京都測候所ヲ開始シ
 〇明治十四年開拓使ニ於テ留萌測候所ヲ廢シ増毛測候所ヲ置キ一月岐阜縣ニ於テ岐阜測候所ヲ七月地理局ニ於テ野蒜及新瀧兩測候所ヲ置キ
 〇明治十五年一月青森縣ニ於テ青森測候所ヲ石川縣ニ於テ金澤測候所ヲ三月高知縣ニ於テ高知測候所ヲ七月大阪府ニ於テ大阪測候所ヲ十月地理局ニ於テ秋田測候所ヲ十二月地理局ニ於テ沼津濱松兩測候所ヲ置キ
 〇明治十六年一月地理局ニ於テ境、下ノ關、鹿兒島、宮崎ノ四測候所ヲ三月地理局ニ於テ宮古測候所ヲ置キ
 〇明治十七年四月佐賀縣ニ於テ佐賀測候所ヲ六月函館縣ニ於テ壽都測候所ヲ置キ十二月佐賀縣ニ於テ佐賀測候所ヲ廢セリ
 〇明治十八年大阪府ニ於テ大阪測候所ヲ廳内ニ移シ二月越中國伏木町ノ有志者伏木測候所ヲ開始シ十一月札幌縣ニ於テ増毛測候所ヲ廢シ宗谷測候所ヲ置キ十二月地理局

ニ於テ沼津測候所ヲ改築シテ城内ニ移セリ○明治十九年八月北海道廳ニ於テ襟裳測候所ヲ九月長崎縣ニ於テ嚴原測候所ヲ下總國銚子町ノ有志者銚子測候所ヲ開設ス○明治二十年一月大分縣ニ於テ大分測候所ヲ開設シ四月富山縣ニ於テ伏木測候所ヲ縣立トナス同月從來地理局ニ於テ設置シタル測候所ヲ地方經濟ニ移シ一ヶ年二百五十圓ノ補助金ヲ下附セラル八月三日勅令第四十一號ヲ以テ氣象臺測候所條例ヲ發布シ地方測候所ハ其地方費ヲ以テ維持スヘキモノト定メラル八月十日內務省令第一號ヲ以テ氣象臺測候所條例施行細則ヲ定メ十月十一日內務省告示第四號ヲ以テ地方測候所ノ位置ヲ指定セラレ十月二十七日內務省訓令第四十六號ヲ以テ氣象臺測候所條例第四條ノ規定ニ係ル地方測候費ハ勤業費ヨリ支辨スヘキ旨內務大藏兩大臣ヨリ訓令セラレタリ先是九月宮城縣ニ於テ野蒜測候所ヲ石卷ニ移シ石卷測候所ト改稱ス爾來各縣ニ於テ內務大臣ノ指定ニ係ル地方測候所ヲ漸次建設シタリ○明治二十八年十月二十二日勅令第四百四十九號ヲ以テ地方測候所職員ノ待遇法ヲ設ケラレ而シテ明治三十三年六月十八日ノ改正ヲ經テ現今ノ制度トナリタリ其間漸次ニ海軍測器庫、海軍望樓、航路標識管理所々管燈臺、鹽業調査所又ハ私立測候所等ニ於テ地方測候所ト同一ノ觀測ヲ開始シ目下本臺ニ向

ケ定期報告ヲ爲スモノ其總數百二十四個所ニ及ヘリ

○八 地方測候所ニ關スル法令

○氣象臺測候所條例 (十二頁ニ掲出ス)

○氣象臺測候所條例施行細則 (十三頁ニ掲出ス)

○地方測候所職員待遇法

第一條 地方測候所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

技師

技手

書記

土地ノ情況ニ依リ當分ノ内技師ヲ置カサルコトヲ得

第二條 所長ハ技師技手又ハ道廳府縣官吏ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 技師ハ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク

技師ノ任免奏薦及宣行ハ明治二十五年勅令第九十六號高等官官等俸給令第四條第五條ノ例ニ依リ之ヲ行フ

第四條 技手及書記ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク

技手及書記ノ任免ハ地方長官之ヲ行フ

第五條 技師ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

一 三年以上中央氣象臺又ハ附屬測候所ニ於テ氣象事務ニ從事シ判任官四級俸以上ノ俸給ヲ受クル者又ハ受ケタル者

二 五年以上同一測候所ニ於テ氣象事務ニ從事シ月俸四十五圓以上ノ俸給ヲ受クル者又ハ受ケタル者

三 氣象ニ關シ特別ノ學術技藝アル者

第六條 技手ハ左ノ資格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ任用ス

一 中學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

二 三年以上中央氣象臺又ハ測候所ニ於テ氣象事務ニ從事シタル者

第七條 技師技手及書記ノ官等等級ハ其ノ俸給額ニ應シ別表ニ依リ文武高等官官等又ハ文武判任官等級ニ配當ス但シ同官等内又ハ同等級内ニ於テハ文武官吏ノ次席タルヘシ

附 則

本令ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

技師官等配當表

奏	任	任
五等	六等	七等
年俸 千六百圓以上	年俸 千二百圓以上 千六百圓未滿	年俸 八百圓以上 千二百圓未滿
八等	九等	
年俸 六百圓以上 八百圓未滿		

技手書記等級配當表

判	任
一等	二等
三等	四等
五等	

技手	月俸六十圓以上	月俸四十五圓以上	月俸三十五圓以上	月俸二十五圓以上	月俸二十圓以上
書記	月俸六十圓未滿	月俸四十五圓未滿	月俸三十五圓未滿	月俸二十五圓未滿	月俸二十圓未滿

○九 測候所位置

測候所位置并ニ創立年月等ハ左表ニ示ス力如シ

地圖番號	所名	所在地	緯度	經度	高度	所管	創立年月
一	中央氣象臺	武藏東京	三五・四一	一三九・四五	二一 <small>米</small>	文部省	八年六月
二	臺	北	二五・〇四	一二一・二八	九	臺灣總督府	二九、八
三	那	琉球	二六・一三	一二七・四一	〇	沖繩縣	二三、七
四	長	肥前	三二・四四	一二九・五二	一三三	長崎縣	一一、七
五	熊	肥後	三二・四八	一三〇・四二	一七	熊本縣	二三、二
六	福	筑前	三三・三五	一三〇・二三	四	福岡縣	二三、一
七	松	山	三三・五〇	一三二・四五	三三	愛媛縣	二三、一

壹等 測候所

地圖番號	所名	所在地	緯度	經度	高度	所管	創立年月
八	德島	阿波	三四・〇六	一三四・三七	四	德島縣	二四、四
九	多度津	讚岐	三四・一七	一三三・四六	五	香川縣	二五、七
一〇	廣島	安藝	三四・二三	一三二・二七	三	廣島縣	一一、一
一一	神戶	攝津	三四・四一	一三五・一一	五八	兵庫縣	二九、二
一二	大阪	攝津	三四・四二	一三五・三一	六	大阪府	一五、七
一三	名古屋	尾張	三五・一〇	一六六・五五	一五	愛知縣	二三、七
一四	函館	渡島	四一・四六	一四〇・四三	三	北海道廳	五、七
一五	札幌	石狩	四三・〇四	一四一・二一	一七	北海道廳	九、九
一六	根室	根室	四三・二〇	一四五・三五	二七	北海道廳	一二、七
一七	恒春	臺灣	二二・〇四	一二〇・四七	二〇	臺灣總督府	二九、一一
一八	臺東	臺灣	二二・四五	一一一・〇八	八、五	臺灣總督府	三四、一
一九	臺南	臺灣	二三・五九	一一〇・一二	一四	臺灣總督府	三〇、一
二〇	澎湖	臺灣	二三・三三	一一九・三四	一一	臺灣總督府	二九、一一
二一	臺中	臺灣	二四・〇二	一二〇・四〇	七二	臺灣總督府	二九、一一
二二	石垣島	琉球	二四・二〇	一二四・〇七	七	文部省	二九、一二
二三	伊江島	琉球	二六・四三	一二七・四五	二八	遞信省	三〇、六

貳等 測候所

二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一
會津高崎	大島	大隅	日向	薩摩	薩摩	日向	日向	日向	日向	日向	日向	日向	日向	日向	日向	日向	日向
二八・一五	二八・二三	三〇・二三	三一・〇〇	三一・二二	三一・三三	三一・三七	三一・五六	三一・五五	三一・三五	三一・三七	三一・四四	三一・四四	三一・四四	三一・四四	三一・四四	三一・四四	三一・四四
一二九・〇八	一二九・三〇	一三〇・二二	一三〇・四〇	一三一・二一	一三〇・三五	一二九・四〇	一三一・二六	一二九・四四	一二八・三六	一二九・〇一	一二九・〇五	一二九・四三	一二九・二一	一三〇・一八	一三一・三六	一三四・一一	一三一・五四
一二八	四	六四	九二	二四四	一一〇	一三二	八	一九六	二四七	五七	一七二	四二	二〇〇	一三	八	一五八	六一
遞信省	文部省	遞信省	海軍省	海軍省	鹿兒島縣	遞信省	宮崎縣	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	海軍省	佐賀縣	大分縣	海軍省	遞信省
三〇、二	二九、一	三〇、一	三三、七	三六、一	一六、一	三〇、一	一六、一	三三、七	三三、七	三三、七	三三、七	三三、七	三三、七	二〇、一〇	三六、一	三四、七	三四、七

四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九
古志岐	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前	肥前
三三・一八	三三・二六	三三・三三	三三・四二	三三・五二	三三・五三	三三・五八	三三・五九	三四・〇五	三四・一二	三四・二二	三四・四四	三四・一六	三四・一八	三四・二一	三四・二二	三四・二七	三四・二九
一二九・一〇	一三五・四六	一三三・三二	一二九・四三	一三三・二四	一三五・〇四	一三〇・五六	一三三・一七	一三二・五九	一二九・一六	一三二・三三	一三五・〇九	一三六・五四	一三三・一六	一三〇・五〇	一三六・五四	一三三・一六	一三三・四八
六一	三四	四二	二六	九四六	一三二	四八	五	二三	二〇	一九	一五	三五	六八	三七	二二	四	四
遞信省	海軍省	高知縣	海軍省	佐賀左衛門	山口縣	佐賀左衛門	佐賀左衛門	遞信省	長崎縣	海軍省	和歌山縣	遞信省	遞信省	遞信省	遞信省	農商務省	野崎武吉郎
二七、一〇	三三、二	一五、三	三六、一	三三、一	三三、二	一六、一	三三、七	三五、四	一九、九	二七、四	一二、七	三四、六	二七、五	三三、一	三三、一	二七、八	二七、八

七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五
飯	宮	境	甲	銚	間	福	高	熊	西	松	筑	水	前	金	宇	長	足
田	津	府	子	人	井	山	谷	鄉	本	山	戶	橋	澤	宮	野	尾	
信	丹	伯	甲	下	丹	越	飛	武	隱	信	常	常	上	加	下	下	
濃	飯	宮	境	斐	總	後	前	藏	岐	濃	陸	陸	野	野	野	野	
田	津	府	府	子	人	井	山	谷	鄉	本	山	戶	橋	澤	宮	野	
三五・三一	三五・三二	三五・三三	三五・三四	三五・四五	三五・四七	三六・〇三	三六・八〇	三六・〇九	三六・一一	三六・一四	三六・二四	三六・二四	三六・三三	三六・三四	三六・四〇	三六・四〇	
一三七・五一	一三五・一一	一三三・一四	一三八・三四	一四〇・五〇	一三五・一三	一三六・一六	一三七・一六	一三九・二三	一三三・二〇	一三七・五九	一四〇・〇六	一四〇・二八	一三九・〇四	一三六・四〇	一三九・五三	一三八・一〇	
五二二	三	三	二六八	二六	一七二	一一	五七七	三二	一三五	五八二	八七〇	三一	一一三	二九	一二五	四二〇	
長野縣	京都府	鳥取縣	山梨縣	千葉縣	福井縣	岐阜縣	埼玉縣	海軍省	長野縣	茨城縣	群馬縣	石川縣	栃木縣	長野縣	古川市兵衛	古川市兵衛	
三〇、一一	三三、六	一六、一	二七、八	一九、九	三五、四	三〇、一	三三、五	二九、二	三三、八	三一、一	三五、一	三〇、一	二九、一	一五、一	二三、八	二二、一	

六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七
八	神	御	長	岡	三	津	濱	濱	布	京	沼	勝	彦	橫	岐	橫	舞
木	子	前	津	山	島	松	田	都	真	都	津	浦	根	賀	阜	濱	鶴
大	伊	遠	伊	備	對	伊	遠	石	安	山	駿	上	近	相	美	武	丹
和	豆	江	豆	前	島	勢	江	見	房	城	河	總	江	模	濃	藏	後
八	神	御	長	岡	山	津	濱	濱	布	都	津	浦	根	賀	阜	濱	鶴
三四・三一	三四・三四	三四・三五	三四・三六	三四・四〇	三四・四三	三四・四三	三四・四三	三四・五三	三四・五三	三四・五五	三五・〇一	三五・〇六	三五・〇九	三五・一七	三五・一七	三五・二七	三五・二九
一三五・四八	一三八・五六	一三八・二三	一三八・五一	一三三・五四	一二九・二五	一三六・三一	一三七・四三	一三二・〇五	一三九・五〇	一三五・四六	一三八・五一	一四〇・一九	一三六・一六	一三九・四〇	一三六・四六	一三九・三九	一三五・二三
六五	三五	六四	五九	六	二	五	二八	二〇	六九	四九	一〇	二	八八	四四	一七	四	三一
奈良縣	遞信省	遞信省	海軍省	岡山縣	遞信省	三重縣	靜岡縣	島根縣	海軍省	京都府	靜岡縣	千葉縣	滋賀縣	海軍省	岐阜縣	神奈川縣	海軍省
三〇、一	二九、五	二三、一一	二八、一	二二、七	一五、二	二六、一	三一、九	一三、一〇	一五、一二	三五、六	二七、一	二六、一〇	一四、一	二九、八	三五、四	三〇、一	

一一四	青森	陸奥	陸奥	四〇・五一	一四〇・四五	四	青森縣	三五、一
一一五	龍飛崎	陸奥	龍飛崎	四一・一六	一四〇・六〇	一一六	青森縣	三五、一
一一六	白神崎	陸奥	白神崎	四一・二四	一四〇・一一	一一二	青森縣	三五、一
一一七	尻矢崎	陸奥	尻矢崎	四一・二五	一四一・二七	四三	遞信省	一九、八
一一八	襟裳	陸奥	高襟裳	四一・五五	一四三・一五	六四	遞信省	一九、八
一一九	稻穂崎	陸奥	高襟裳	四二・一四	一三九・三三	二八	遞信省	二四、二
一二〇	室蘭	陸奥	室蘭	四二・二〇	一四〇・五五	三八	遞信省	二五、一
一二一	壽都	陸奥	壽都	四二・四八	一四〇・一三	一七	北海道廳	一七、六
一二二	十勝	陸奥	壽都	四二・五五	一四三・一一	四二	北海道廳	二五、一
一二三	釧路崎	陸奥	釧路崎	四二・五七	一四四・二二	四二	遞信省	二五、一
一二四	落石崎	陸奥	釧路崎	四二・五九	一四五・三〇	三七	遞信省	二五、一
一二五	神威岬	陸奥	落石崎	四三・一九	一四〇・二二	七一	遞信省	二五、一
一二六	納沙布崎	陸奥	室納沙布崎	四三・二二	一四五・四九	一五	遞信省	二五、一
一二七	釧路	陸奥	室納沙布崎	四三・二三	一四四・二八	三三	北海道廳	二五、一
一二八	上川	陸奥	石狩旭川	四三・四七	一四二・二二	一一	北海道廳	二五、一
一二九	網走	陸奥	石狩旭川	四四・二〇	一四四・一六	三九	北海道廳	二五、一
一三〇	阿吐江也岬	陸奥	北見網走	四四・二六	一四六・三三	五二	遞信省	二五、一
一三一	紗那	陸奥	國後阿吐江也岬	四五・一四	一四七・五一	三九	北海道廳	二五、一

九六	伏木	越中	伏木	三六・四七	一三七・〇三	四	富山縣	一八、二
九七	鹽屋崎	越中	鹽屋崎	三六・五九	一四〇・五九	五〇	遞信省	三三、二
九八	皆月	越中	皆月	三七・二二	一三六・四五	一五四	海軍省	三三、二
九九	輪島	越中	皆月	三七・二三	一三六・五三	九	石川縣	二九、二
一〇〇	祿剛	越中	登輪島	三七・三一	一三七・一九	四五	遞信省	二九、二
一〇一	福島	越中	登輪島	三七・四一	一四〇・二四	六二	福島縣	二九、二
一〇二	小島	越中	代渡利	三七・四九	一三八・一二	二五	佐野理八	二九、二
一〇三	金山	越中	磐城	三七・五三	一四〇・四六	二五	佐野理八	二九、二
一〇四	新瀉	越中	磐城	三七・五五	一三九・〇三	二六	新潟縣	二九、二
一〇五	姫瀨	越中	後新瀉	三八・〇五	一三八・三三	三〇	遞信省	二九、二
一〇六	山形	越中	佐渡	三八・一四	一四〇・一七	三五	山形縣	二九、二
一〇七	金山	越中	羽前	三八・一六	一四一・三五	五二	遞信省	二九、二
一〇八	石巻	越中	陸前	三八・二六	一四一・一九	四五	宮城縣	二九、二
一〇九	鮭崎	越中	陸前	三九・三三	一四二・〇五	二八	遞信省	二九、二
一一〇	宮古	越中	中宮古	三九・三八	一四一・五九	三〇	岩手縣	二九、二
一一一	秋田	越中	中宮古	三九・四一	一四〇・〇六	六	秋田縣	二九、二
一一二	入道崎	越中	羽後	四〇・〇〇	一三九・四一	三二	遞信省	二九、二
一一三	鱸作崎	越中	羽後	四〇・三七	一三九・五一	四九	海軍省	二九、二

一三二 鴛	泊	北見	鴛泊	四五・一五	一四一・二一	六六	遞信省	三六、一
一三三 宗	山谷	北見	宗谷	四五・三一	一四一・五六	二六	—	—
一三四 釜山	山釜山	韓國	釜山	三五・〇六	一二九・〇二	五	中央氣象臺	一七、一二

○十 測候所職員 明治三十六年一月一日現在

測候所(等級)	職名	俸給	初テ測候ニ從事シタル年月	姓	名
澎湖島(二等)	所長(技手)	六級 俸	二十八年九月	大井	戸清
	所長(技手)	八級 俸	二十六年十二月	野田	藤太郎
	所長(技手)	十級 圓	三十三年八月	田中	金次郎
恒春(二等)	所長(技手)	六級 俸	二十六年四月	藤井	普門
	所長(技手)	七級 俸	二十一年十一月	近藤	梅之丞
	所長(技手)	十級 圓	三十五年八月	新保	徳造
臺南(二等)	所長(技手)	三級 俸	二十九年四月	遠藤	外與吉
	所長(技手)	七級 俸	三十四年四月	庄司	與市郎
	所長(技手)	八級 俸	三十年十月	唯我	詔圓
	所長(技手)	九級 俸	二十年六月	三好	勝太郎
臺中(二等)	所長(技手)	九級 俸	二十九年五月	大工	迫盛義

臺東(二等)	臺北(二等)	那霸(二等)
所長(技手)	所長(技手)	所長(技手)
六級 俸	六級 俸	六級 俸
二十六年五月	二十六年五月	二十六年五月
篠原	篠原	篠原
嘉平	嘉平	嘉平
小野	小野	小野
岐	岐	岐
坂本	坂本	坂本
萬介	萬介	萬介
泉健	泉健	泉健
吉	吉	吉
近藤	近藤	近藤
久次郎	久次郎	久次郎
遠藤	遠藤	遠藤
貞雄	貞雄	貞雄
寺本	寺本	寺本
貞吉	貞吉	貞吉
赤川	赤川	赤川
丙吉	丙吉	丙吉
水内	水内	水内
清治	清治	清治
重嶺	重嶺	重嶺
一祐	一祐	一祐
古田	古田	古田
茂穂	茂穂	茂穂
土肥	土肥	土肥
逸太郎	逸太郎	逸太郎
荒木	荒木	荒木
喬	喬	喬
岡野	岡野	岡野
增吉	增吉	增吉
景山	景山	景山
鴉三	鴉三	鴉三
上江	上江	上江
洲由	洲由	洲由
炬	炬	炬
宮城	宮城	宮城
歷	歷	歷
春	春	春
明	明	明
祝嶺	祝嶺	祝嶺
春	春	春
明	明	明

廣島(一等)		大分(二等)				和歌山(二等)			
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
技	技	技	技	技	技	技	技	技	技
書	書	書	書	書	書	書	書	書	書
履	履	履	履	履	履	履	履	履	履
長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月	三十四年五月
長坂真佐衛	仁木齊	寺島良業	酒井熊楠	神保源之助	瀧本貞太郎	梶川萩保	田中芳次郎	立野貫一	野村一也
工藤陳男	筒井亮平	救英太郎	岡本保佐	伊藤松三郎	沼木鶴松	荒木直	市川寅太郎		

鹿兒島(二等)		宮崎(二等)		高知(二等)		德島(一等)	
所	所	所	所	所	所	所	所
技	技	技	技	技	技	技	技
書	書	書	書	書	書	書	書
履	履	履	履	履	履	履	履
長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)
十	十	十	十	十	十	十	十
一	一	一	一	一	一	一	一
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
三十三年三月	三十三年三月	三十三年三月	三十三年三月	三十三年三月	三十三年三月	三十三年三月	三十三年三月
稱霸盛珍	伊藤悌藏	鹿角義助	山根友一	篠原岩熊	小竹義重	佐竹義重	川越寅之助
濱田佐二郎	清水源井	近澤良吉	田島千景	土方哲	和田作馬	宮下謙五郎	香川槐三
美馬文章	水口萬次郎						

岡山(三等)			多度津(二等)			松山(二等)		
所	技	所	所	技	所	所	技	所
長(技師)	手	長(技師)	長(技師)	手	長(技師)	長(技師)	手	長(技師)
二十	十	三十	十	十	十	十	十	十
十	五	十	十	十	十	十	十	十
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
二十四年十二月	三十年七月	三十三年九月	三十一年三月	三十一年九月	三十一年三月	三十一年三月	三十一年九月	三十一年三月
中川源三郎	松尾規矩一	關口孝裕	福田盛樹	三畑熊市	坪井大藏	橋本肅藏	大西久太郎	下野信之
佐藤晉吉	植垣秀太郎	日詰忠完	柳原正彌	友田芳太郎	佐伯德譽	野本與三郎	前田直吉	小松靜枝
富井靜男	加藤正衡	小野英雄	和田織太郎	西山幹三郎	入澤賢治	有森勉	大森信太郎	松本恒太

神戶(二等)			大阪(二等)		
所	技	所	所	技	所
長(技師)	手	長(技師)	長(技師)	手	長(技師)
二十	十	十	十	十	十
十	五	十	十	十	十
圓	圓	圓	圓	圓	圓
二十四年十二月	三十年七月	三十三年九月	三十一年三月	三十一年九月	三十一年三月
中川源三郎	松尾規矩一	關口孝裕	福田盛樹	三畑熊市	坪井大藏
佐藤晉吉	植垣秀太郎	日詰忠完	柳原正彌	友田芳太郎	佐伯德譽
野本與三郎	前田直吉	小松靜枝	富井靜男	加藤正衡	小野英雄
和田織太郎	西山幹三郎	入澤賢治	有森勉	大森信太郎	松本恒太

京都(二等)		入木(二等)		熊本(二等)		佐賀(二等)	
技	所	所	所	所	所	所	所
長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)
手	手	手	手	手	手	手	手
十	十	十	十	十	十	十	十
三	三	三	三	三	三	三	三
八	八	八	八	八	八	八	八
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
二十三年四月	二十三年五月	三十四年五月	三十五年五月	三十五年五月	三十五年五月	三十五年五月	三十五年五月
玉齋誠三郎	上野山長三郎	村上清治郎	水原辰造	和泉長治郎	德永勳美	鈴木賤夫	福井規矩三
城野正治	阪本重孝	栗山茂太郎	山川軍治	陶山榮藏	村島五百樹	笠真直	森改吉
服部岩太郎	草場廣儉						

長崎(二等)		福岡(二等)		嚴原(二等)	
技	所	所	所	所	所
長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)
手	手	手	手	手	手
十	十	十	十	十	十
六	六	六	六	六	六
二	二	二	二	二	二
圓	圓	圓	圓	圓	圓
三十年五月	三十五年四月	九十年十月	二十四年十月	三十二年五月	三十四年五月
中村摩敬	野中盈太郎	大塚信豐	平山順三郎	古賀敏夫	原岡秀一郎
竹下康太郎	齋藤治郎	菅儀一	淺野修	向野喜代太郎	隅田興利
川邊秀太郎	柴田福太郎	金替德喜	歌野詮二	河内二郎吉	櫻井惇作

熊谷(二等)		水戸(二等)		銚子(二等)		神奈川(二等)											
所	書	技	技	所	書	技	技	所	書	技	技	所	書				
長(兼)		記	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)				
手	記	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手				
十	十	十	十	三	十	二	三	二	三	十	十	十	三				
二	五	七	十	三	五	十	二	十	五	三	八	十	五				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓				
三十四年二月	三十三年一月	三十二年四月	三十一年四月	十四年五月	三十五年三月	二十三年五月	二十九年五月	二十二年十一月	三十五年十月	三十年六月	二十二年七月	三十三年一月	二十五年三月				
室伏萬吉	朝倉慶吉	手島儀助	山崎保	戶井田司	大村信之助	伊藤弘道	米崎初太郎	宇野藤熊	沖野園吉	數度虎男	飯田實	渡邊鍬次	上村錄平	小島善平	水野忠比古	吉田盛次	鈴木武太郎

沼津(二等)		甲府(二等)		松本(二等)		飯田(二等)		濱松(二等)									
技	所	書	技	技	所	技	技	技	技	所	書	技	技	所			
長(兼)			長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)			
手	記	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手	手			
二	十	十	十	三	十	十	十	四	二	十	十	二	十	二			
十	二	二	五	十	一	五	二	三	十	二	五	十	二	十			
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓			
十五年十一月	三十五年九月	三十一年十一月	三十三年三月	二十九年四月	三十五年三月	三十一年八月	三十一年十二月	三十四年十二月	三十四年五月	三十年十一月	三十年四月	三十四年九月	二十六年四月	二十一年六月			
金田鏡太郎	佐々木唯市	黒田重三郎	小林重良	上矢盛平	六川謹吾	北口寛菊	橋倉正一	柳澤巖	岩間保	長沼四郎	伊原長三郎	原稻太郎	大山西秀	倉本武壽	萩原壽	長島美貞	佐々木唯市

山形(二等)		秋田(二等)		福島(二等)	
技	所	技	所	技	所
長(技手)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)
手	手	手	手	手	手
記	記	記	記	記	記
十	十	十	十	十	十
三	三	三	三	三	三
圓	圓	圓	圓	圓	圓
三十二年四月	三十二年七月	三十二年七月	三十二年七月	三十二年七月	三十二年七月
小林誠吾	富川幸隆	古川重次郎	神崎昌	山澤金五郎	澤田龜次郎

石巻(二等)		宮古(技手)		青森(二等)		國館(二等)	
技	所	技	所	技	所	技	所
長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)	長(兼)
手	手	手	手	手	手	手	手
記	記	記	記	記	記	記	記
十	十	十	十	十	十	十	十
三	三	三	三	三	三	三	三
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
三十二年八月	三十五年九月	三十五年五月	三十四年六月	三十四年五月	三十五年三月	三十五年十二月	三十五年七月
菊地勇治郎	男澤主稅	佐藤賢伍	白木林兵衛	田村忍	廣江方正	小堀内長次郎	橘末吉

襟 裳 (二等)	宗 谷 (二等)	札 幌 (二等)	壽 都 (二等)
航路標識看守	航路標識看守	航路標識看守	航路標識看守
二	二	二	二
十	十	十	十
圓	圓	圓	圓
三十四年八月	三十四年八月	三十四年八月	三十四年八月
岩崎二郎	大森喜代次郎	永峯治定	伊藤野清七

根 室 (二等)	網 走 (二等)	釧 路 (二等)	上 川 (二等)	十 勝 (二等)
技手	技手	技手	技手	技手
十	十	十	十	十
圓	圓	圓	圓	圓
三十年十一月	三十年十一月	三十年十一月	三十年十一月	三十年十一月
山田順太郎	波多野榮次	青池方男	諏訪喜右工門	加藤源太郎

私	沖	鹿	宮	熊	佐	大	福	高	愛	香	德	和	山	廣	岡	島
設	繩	兒	崎	本	賀	分	岡	知	媛	川	島	歌	口	島	山	根
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
二	一	二	二	一	二	二	一	二	一	一	一	二	二	一	二	二
等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九	八	八	三	八	〇	三	三	一	二	二	三	〇	一	四	三	二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	五	八	三	四	八	八	二	八	〇	〇	二	二	二	六	九	二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	二	三	三	三	三	三	二	三	一	二	二	二	二	三	三	三
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	一	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一、六六七	二、三六六	一、五三三	二、八三三	二、〇八一	一、九五二	二、六五六	二、五三五	三、八七三	四、九八四	三、四九六	二、五〇八	二、九七九	二、七六九	三、四七一	三、三四八	三、三四八

鳥	富	石	福	秋	山	青	岩	福	宮	長	岐	滋	山	靜	愛	三	奈
取	山	川	井	田	形	森	手	島	城	野	阜	賀	梨	岡	知	重	真
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	二	二
等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一	三	一	一	二	一	二	一	一	三	四	三	一	〇	一	三	二	二
六	八	八	二	五	八	八	一	六	七	五	四	四	〇	九	八	九	九
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三	五	〇	〇	七	四	二	四	二	三	三	四	—	—	〇	一	九	七
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	二	六	三	二	三	二	一	二	二	六	五	二	三	三	三	二	二
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一、九六一	二、三七八	三、五九八	三、〇九九	二、三六八	二、八八七	一、四〇一	一、六六二	三、〇八四	四、一二四	六、〇二九	四、三九四	二、五〇五	二、三九一	二、九一四	四、六〇二	二、〇六九	二、四一七

○中央氣象臺明治三十五年事業一覽

左ニ掲出スルモノハ本年中本臺ニ於テ取扱ヒタル事業ノ概略ナリ

○文書往復數

種目	數	官廳			計
		省	府	縣	
自記晴雨計	二	六〇八	二三一	一、四四二	三、八一三
		一、四四二	一五〇	一、九八三	
自記寒暖計	二	六七五	七二七	一、四二八	六、二四四
		一、二八三	九五八	三、四二五	
		一、四二八	五七八		
		二、四三一			六、二四四

○氣象器械購入品目及數量

種目	種類	依 賴 數	手 數 料
自記晴雨計	水銀晴雨計	八九	一二五、三〇〇
空盒晴雨計		九二	三五、一〇〇
自記晴雨計		三六	三七、〇〇〇
○氣象器械檢定依頼數及手數料			
計	託氣高 壓低 度氣 付壓 送天ノ 氣位 豫置 料報及	三六三	四、九二二、七六〇
	通告電報	一六五	二、八六九、七三〇
	天天氣實況報	一〇六	一、二二二、六二〇
	暴風豫報	九	一〇三、〇〇〇
	天氣電報	六	九、六〇〇
	天氣電報	一〇	三九九、七六〇
	託氣高 壓低 度氣 付壓 送天ノ 氣位 豫置 料報及	七	三〇〇、二〇〇
		〇	一七、八五〇

種目	種類	依 賴 數	手 數 料
計	水點下試驗器	三六	一
	常記器械用時計	一	一
	自記盛目盛檢定器械	三	一
	自記風信器	一	一
	自記電氣風力計	一	一
	風力計附屬自記器	一	一
	地中寒暖計	六	〇
	水銀寒暖計	一	二
	最低寒暖計	〇	二
	最高寒暖計	二	二
	乾濕球寒暖計	二	二
○氣象通報依頼數及手數料			
計		三六	一

暴風信號所在地一覽
天氣圖

計	三六五	一	八〇〇 <small>枚</small>
	四〇五		六二、六七三
			三三、〇七四 <small>册</small>
			六二、四七三 <small>枚</small>

百三十

○地方測候所視察

一月十六日技師正戸豹之助沼津測候所移轉位置檢分ノ爲メ靜岡縣へ出張同月十八日歸京
三月四日技師正戸豹之助境、濱田、岡山及廣島四測候所へ出張同月三十一日歸京
三月二十六日技師岡田武松横須賀鎮守府測器庫布良海軍望樓及銚子測側所へ出張同月三十一日歸京
十月二十七日技師中村精男長崎、下ノ關、石垣島及臺北四測候所へ出張十二月四日歸京

○學術視察

七月技師岡田武松同江原貞吉同佐木虎士等前後富士山及山梨縣南都留郡中野村へ出張同月下旬ヨリ八月三十一日迄山頂及中野村ニ於テ氣象觀測ヲ施行ス

○氣象觀測練習會

本年開設第三回氣象觀測練習會ニ入會者十八名アリ四月十一日ヲ以テ開會シ七月十八日閉會セリ

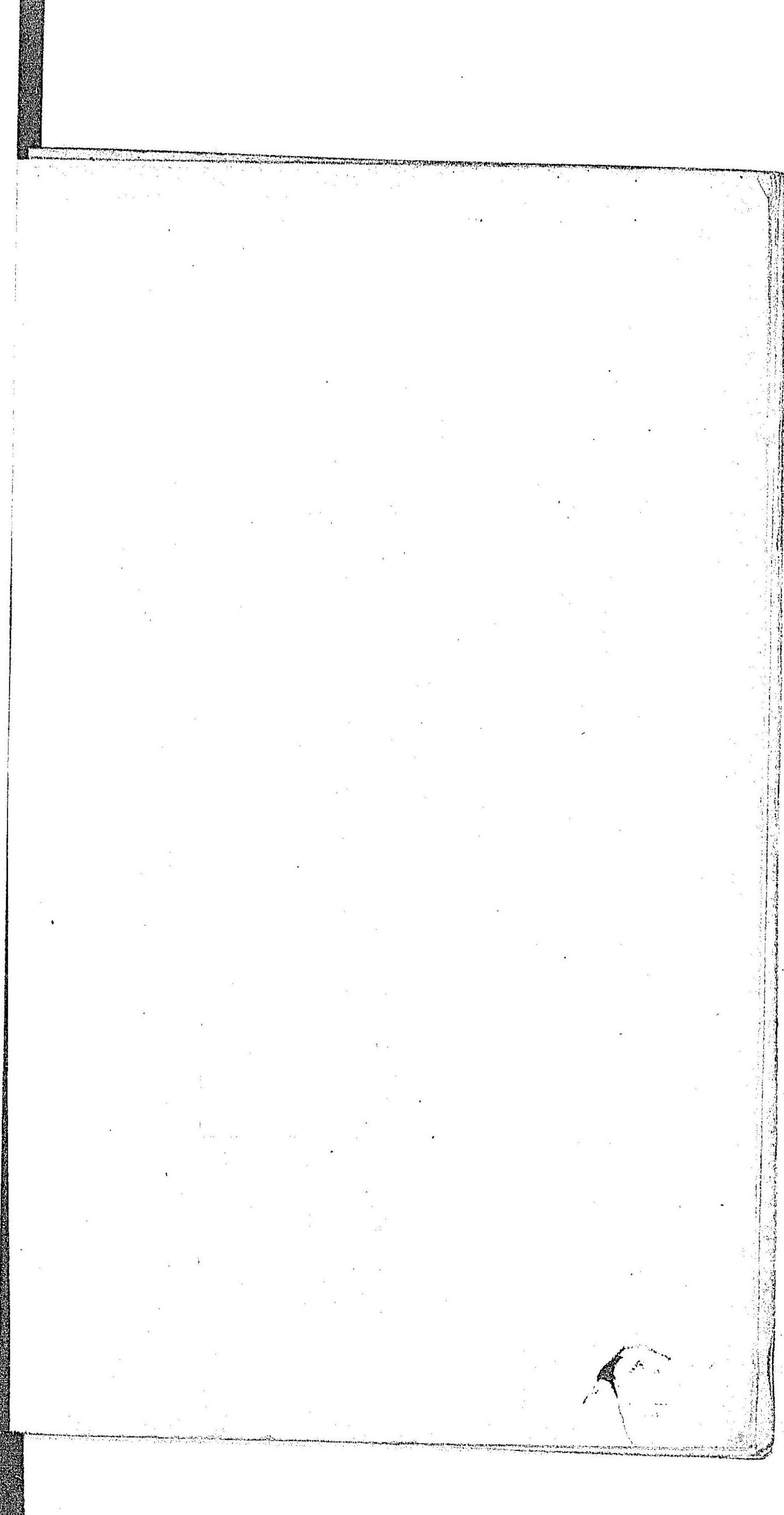
○中央氣象臺參觀人

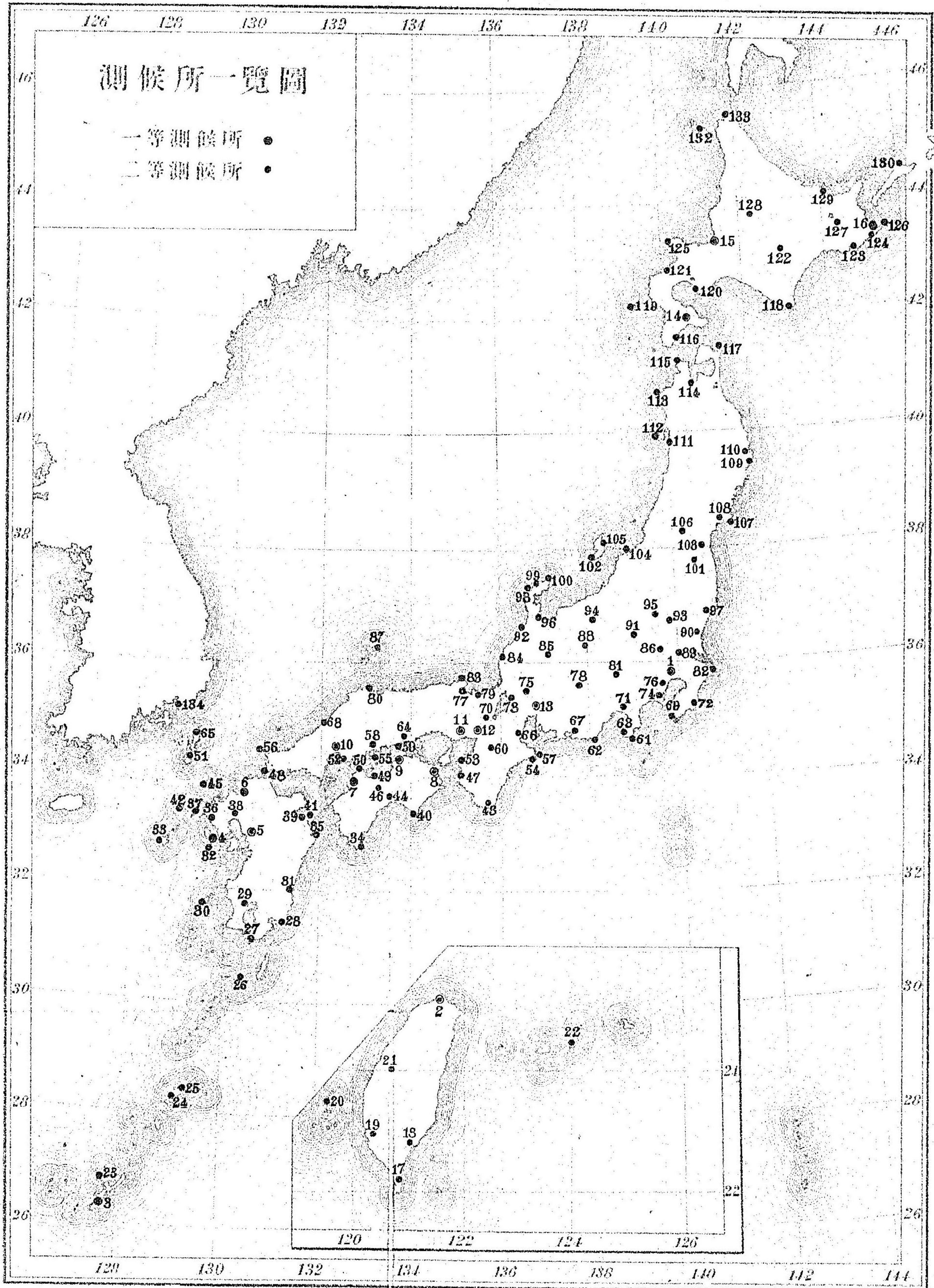
本年内ニ於ケル本臺器械參觀人員ハ千六百九十四人ニシテ此内譯左ノ如シ

皇族	官吏	公吏	軍人	教員	生徒	外國人	其他	計
四	八五	七	一五九	一八	男 一〇三六 女 二一九	三	一四	一六九四

中央氣象臺一覽正誤

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
一三	一〇	觀 一三八、四二	視 一三一、四二	一〇〇	七	一三八、一二 三八、一六	一三七、五八
五三	一八	備後國 一三八、四二	備前國 一三一、四二	一〇〇	一三	三二、二六 五二	七八、一七
五八	一八	長門國 一三八、五五	長門國 一三八、五五	一〇一	二	四〇、六〇	海軍省 一四〇、二〇
六二	七	長門國 一三八、五五	長門國 一三八、五五	一〇一	一六	四四、二〇 四四、二六	四四、〇一 四四、一七
六四	一八	九級俸 一三六、五九	八級俸 一三七、五九	一〇二	二	一四一、五六	一四一、五五
六六	一〇	四級俸 一三〇、三五	三級俸 一三一、三五	一〇二	三	一二九、〇二	一二九、〇三
七九	一二	三十一 一三〇、三五	三十六 一三一、三五	一〇二	五	一七	一七三
九六	六	一三三、〇一	一三三、〇一	一〇二	四〇	愛知縣	香川縣
九六	一一	一二九、四三	一二九、四二	一〇二			
九六	一三	三六、八〇	三六、〇八	一〇二			
九九	八	三六、八〇	三六、〇八	一〇二			



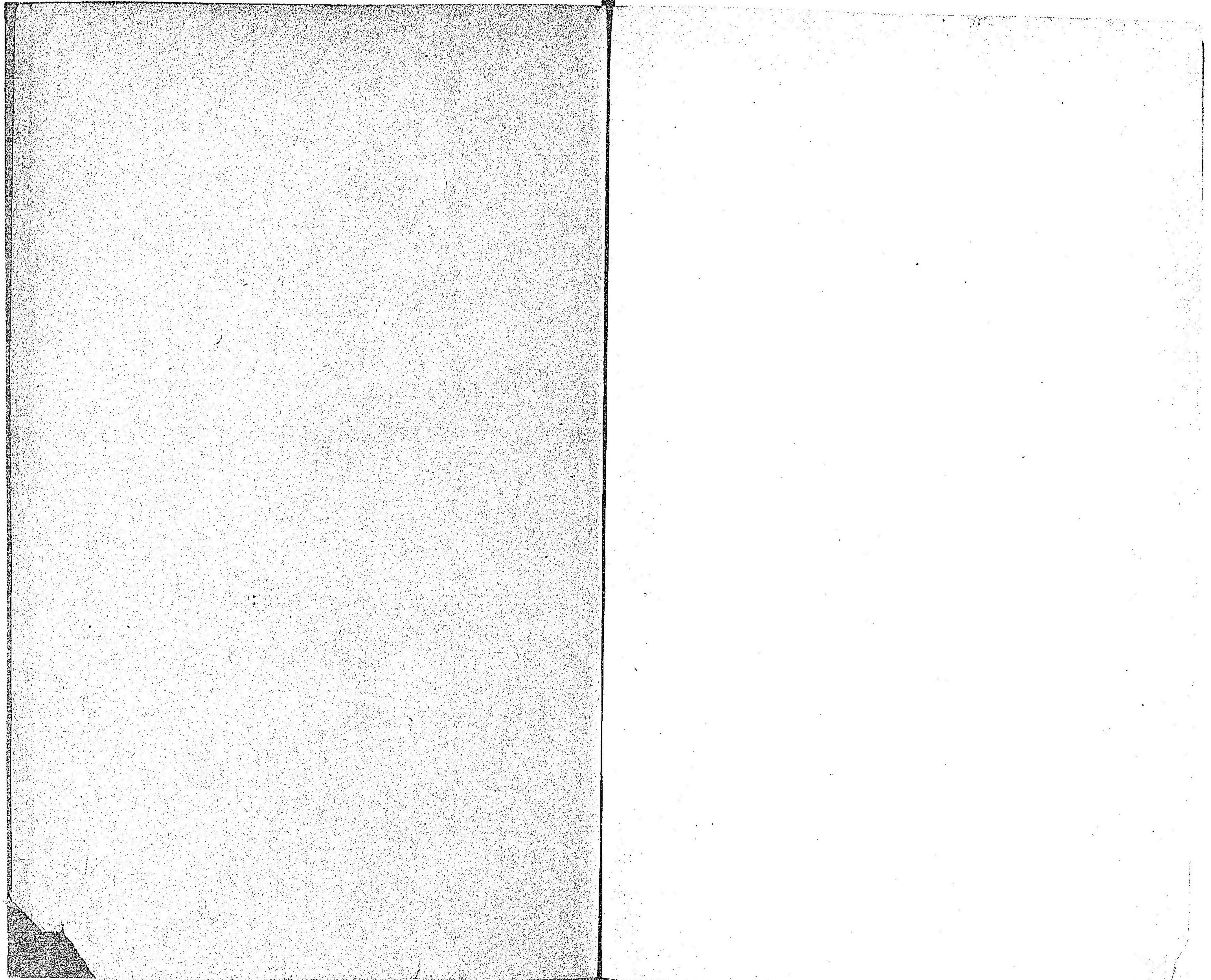


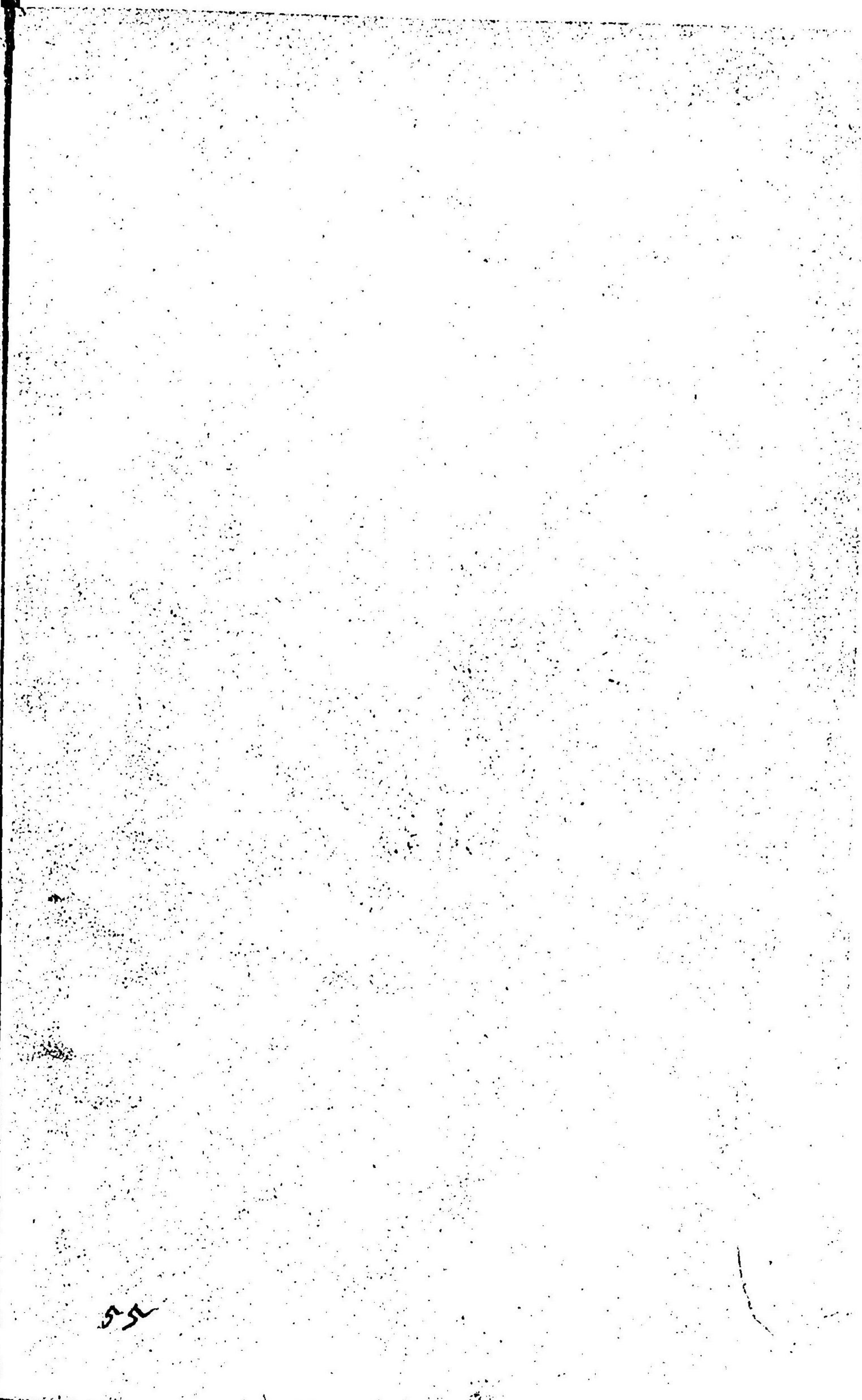
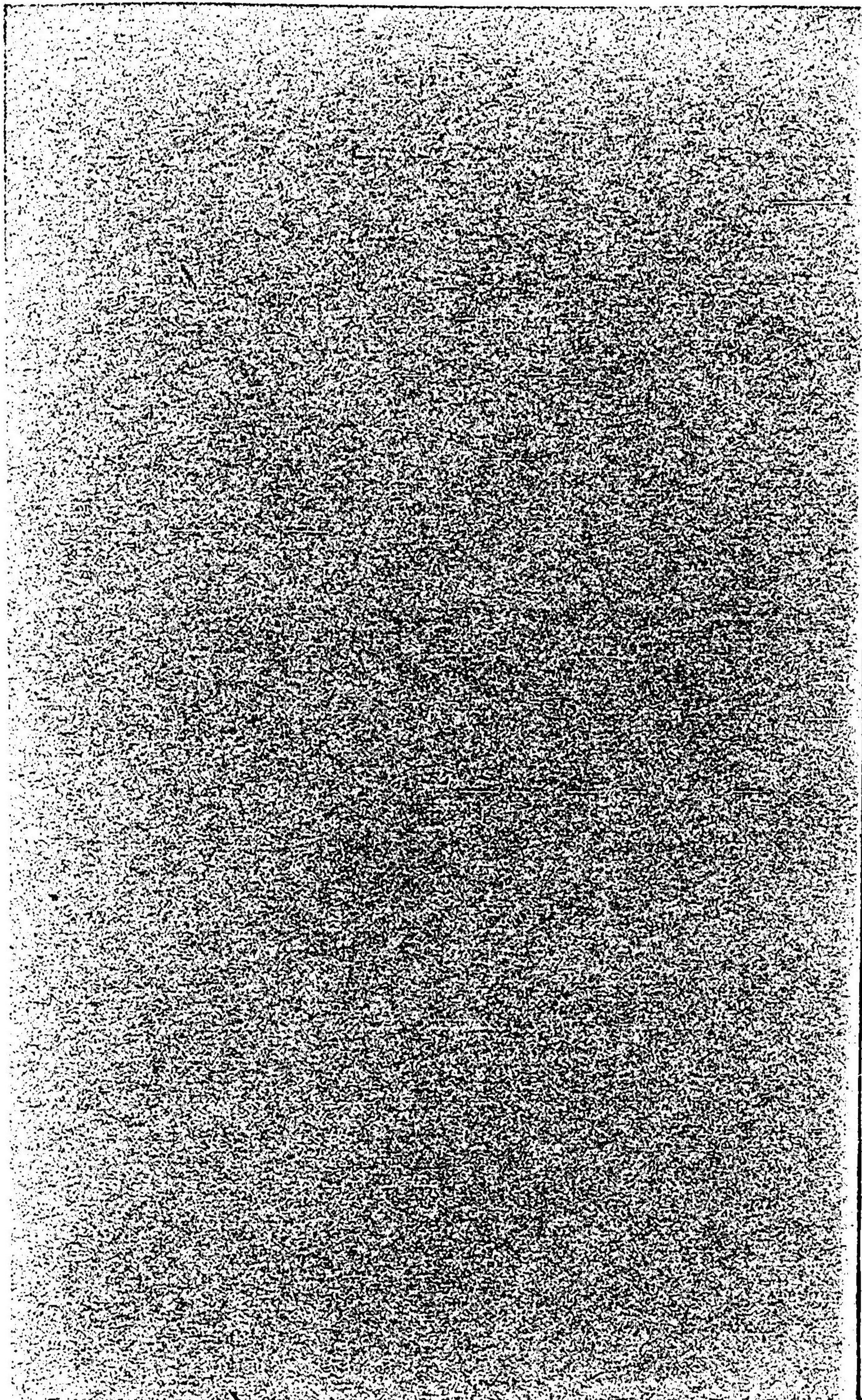
146
=
90

明治三十二年五月三十日印刷
明治三十二年四月卅一日發行

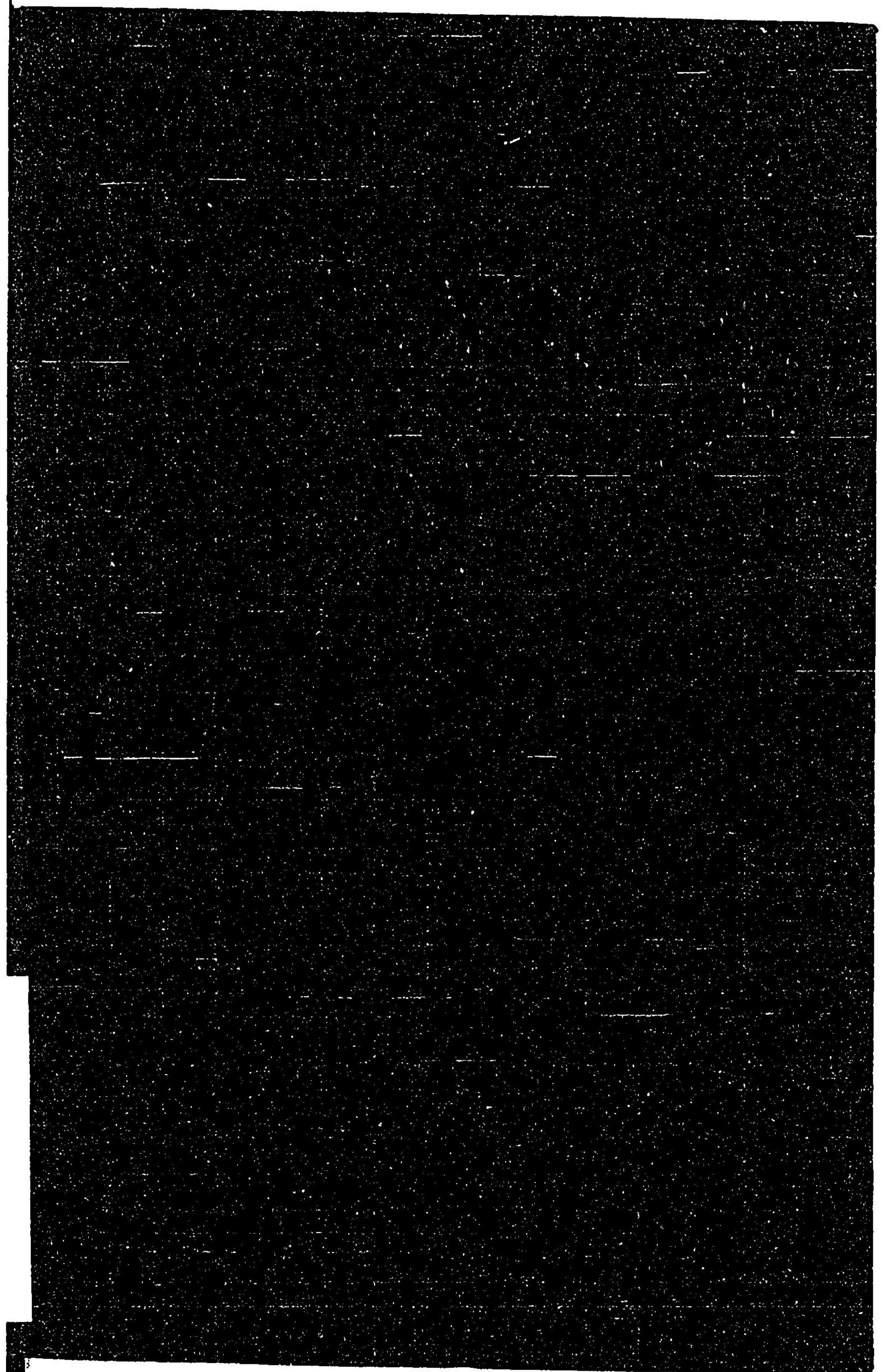
中央氣象臺

印刷者 多田三彌





1111
20



14.6₂

90

Ⓜ